

秋田県出土の珠洲系陶器資料集成（下）

栗澤光男

（4）宗教的遺跡

秋田県で珠洲系陶器が出土している宗教的遺跡には、経塚、墳墓、寺院跡、神社跡などがある。なお、本項には、宗教関連と考えられる遺跡も含めた。

① 経塚・墳墓

経塚や墳墓は、一般的には見晴らしの良い丘陵上などに、小円墳状のマウンドを盛っているもので、それと分かるようだ。しかし、経塚と墳墓は外見で見分けがつかない。

秋田県内で確認されている経塚は、秋田県教育委員会発行の『秋田県遺跡地図（県北・中央・県南版）』によると、県北（鹿角市・鹿角郡2遺跡、大館市・北秋田郡なし、能代市・山本郡2遺跡）には4遺跡、県中央（男鹿市・南秋田郡5遺跡、秋田市・河辺郡2遺跡、本荘市・由利郡4遺跡）には11遺跡、県南（大曲市・仙北郡11遺跡、横手市・平鹿郡8遺跡、湯沢市・雄勝郡3遺跡）には22遺跡で、計37遺跡であり、その多くは、室町期頃の一字一石経を出土するものである。

また、これら経塚（経塚類似遺構も含む）の発見は偶然によるものが大半を占め、その様子は当時の発見者らの談話による知見が多いようである。したがって、経塚の様子が分かっているものは少ない。現状として大部分の経塚は未だ調査されておらず、近年活発に行われるようになった開発事業によって、封土（盛土のマウンド部分）を失ったもの、完全に消失してしまったものもあるようだ。

このうち珠洲系陶器出土の経塚は、二ツ井町御座堂遺跡（五輪台経塚）、能代市河戸川遺跡（経塚）、男鹿市加茂青砂経塚（向山経塚）、大森町観音寺経塚、横手市閑居長根1号経塚、雄物川町大沢森経塚・北野1号遺跡（経塚）、湯沢市松岡経塚の8遺跡である。また、墳墓は南外村小出Ⅰ遺跡の1遺跡である。

【経塚】

御座堂遺跡〔五輪台経塚〕（20）

『秋田県の文化財』によれば、昭和9年に山本郡二ツ井町荷上場高岩山中腹の五輪台で、同町荷上場消防組の人たちによって発見された。塚の大きさは5m×3mほどの積み石塚のようで、その中から甕・壺・片口鉢・土師器などが7個出土したとわれている。しかし、現在残っているのは、甕2個、四耳壺1個、片口鉢1個の計4個である。なお、掲載資料の出土状態は、片口鉢（第34図507、図版6-26）で蓋された甕（第34図506、図版6-25）が埋置されていたようである。現在、秋田県指定有形文化財（考古資料）である。

河戸川遺跡〔経塚〕（40）

能代市河戸川集落の北側に鎮座する熊野神社の境内にある。『能代市史 資料編 考古』によると、「熊野神社本堂の下に宝物が埋まっているという伝承があることから、1965年（昭和40）本堂建替の時に、同社19代神主浅野喜代治が本堂下の石を取り除いたところ、口縁部の欠損した甕（第35図513、図版6-27・28）を発見した。」そうであり、「この甕には経石が内蔵されていたところから、経塚遺跡と判断された。」と記述されている。また、出土した珠洲系陶器の甕の埋納状態は第34図下図のようであり、甕を掘り上げる際に欠損した口縁部片を捜したが、検出できなかったようである。

加茂青砂経塚〔向山経塚〕(50)

日本海に突出する男鹿半島西辺の中央部付近にある。『男鹿市史』によると、「珠洲系の壺（第34図508、図版6-29）に納められたものが、昭和24年に出土している。壺の中には血書経を絹布に巻いて竹筒に納められ、壺には石の蓋が施してあった。」と記している。また、壺の年代は14世紀初頭のものとされている。

閑居長根1号経塚(109)

『秋田県の考古学』によると、「明治22年、金沢町の加藤辰蔵氏が金沢町閑居長根の頂上を掘ったところ、地下24cm余りに箕の形をした偏平な石を蓋とし、その下に径60cm余りの円い石枠を組み、陶製の壺を中心に周りに砂礫を詰めていた。その壺は肩部に刷毛目を波状に廻らし、四耳が付き、古鏡をもって蓋とし、耳から針金をもって絡げていた。」と記されている。出土した四耳壺（第34図511、図版7-31）の年代は、珠洲編年のⅡ期にあたり、13世紀前半～中頃のものと考えられる。また、古鏡は「蘆雁鏡」と呼ばれる青銅和鏡で、経筒とした四耳壺の蓋として転用されていた。^(註1)なお、明治41年に発見された閑居長根2号経塚からは、元久3年（1206年）の紀年銘のある青銅製経筒が出土しており、同経塚の時期や1号経塚出土の珠洲系陶器の年代を知る有益な資料となっている。現在、閑居長根1・2号経塚の出土資料は、秋田県指定有形文化財（考古資料）である。

観音寺経塚(107)

江戸時代の菅江真澄翁が著した『雪の出羽路（平鹿郡三）』によると、佐々木治総兵衛という人が、ある夜、夢に現れた翁から、観音寺の古寺山に4つの塚あり、そのうち3つの塚を掘れとのお告げを受けたので、塚を探しに出掛けたところ、文化6年（1809年）7月23日、観音寺山の中腹にある4つの塚を発見した。そこでお告げに従って3つの塚を掘ったところ、一つの塚には二振りの刀と久安5年（1149年）銘のある銅製経筒があり、一つの塚には二振りの刀と片口鉢を蓋とした経甕があり、その甕の中に記銘のない銅製経筒が入っていたということが記されている。今は、経甕（第36図514、図版7-33）しか残っておらず、他の出土遺物の所在は不明である。なお、この経甕は、現在、秋田県指定有形文化財（考古資料）になっている。

大沢森経塚(114)

『秋田県史 考古編』によれば、平鹿郡雄物川町大沢森から大正2年6月20日、佐藤梅治氏が発見した。現在、この出土品である珠洲系陶器の壺（第36図515、図版7-34）、白銅経筒の小破片若干、紙本経10巻余が横手市の正平寺に納められている。

北野1号遺跡〔経塚〕(116)

『雄物川町史』によれば、昭和34年の秋、雄物川町大沢字北野と今宿ハアカ坂の境界線確認の際に、たまたま発見された遺跡である。土饅頭のような盛土2つが100mほど離れてあり、それぞれ北野1号遺跡と2号遺跡と命名された。うち珠洲系陶器の壺（第37図516、図版7-35）が出土したのは、北野1号遺跡の封土からである。壺は経塚の基底部中央に掘られた穴に納められ、石の蓋が施されており（第37図下図）、中には何も入っていなかったようである。陶器の年代は珠洲編年のⅠ期で、12世紀中～後半に位置付けられる。ちなみに北野2号遺跡も1号と同様な構造で、中から岩偶が1点出土している。現在、北野1号出土の壺は、雄物川町有形文化財として雄物川町郷土資料館に保管されている。

松岡経塚(118)

昭和29年4月に発見された遺跡である。封土（第38図右下の図）の中からは、銅の経筒4、珠洲系陶器の壺3（第38図517、図版7-36、同図519・521）、片口鉢1（第38図520）、銅鏡1（第38図522）と刀子や洪武通宝の銭貨が出土した。経筒の1つには寿永3年（1184年）、もう1つには建久7年（1196年）の在銘が

ある。また、銅鏡は菊枝薄双鏡と呼ばれる鏡で、銅製経筒の底板として転用されていた。出土した珠洲系陶器は、銅製経筒の紀年銘などから、12世紀中頃～後半のものと思われる。

【墳墓】

小出Ⅰ遺跡〔墳墓〕(99)

遺跡は、桧岡川右岸の標高30～70mの段丘上に立地している。昭和62・63年に発掘調査が行われ、旧石器時代から中世の複合遺跡であることが判明した。珠洲系陶器は幅40～80cm、深さ10～20cm、径5.2mの環状の溝状遺構から出土した。この遺構は封土が削平された中世墳墓と判断されている。出土した珠洲系陶器は、経筒(第34図509、図版6-30)の外容器、甕(第34図510)である。

なお、同遺構外の周辺からの甕(第50図659)との播鉢(第50図660)が出土した。

② 寺院跡・神社跡

寺院跡は大館市矢立廃寺跡と五城目町帝釈寺跡の2遺跡、神社跡は秋田市日吉神社跡の1遺跡である。また、宗教関連の遺跡としては、大館市長森遺跡、男鹿市被川Ⅰ遺跡、大森町劔花山の鹿島神社の3遺跡が上げられる。

【寺院跡】

矢立廃寺(14)

矢立廃寺は、大館市白沢字松原小字ハゲノ下・上ハ台に所在する12世紀後半の寺院跡である。江戸時代後期の紀行文・随筆に14世紀前半の寺院として記載され、地元では公家の隠遁地と伝承されていた。しかし、昭和42年に第一次(測量)調査が行われ、仏殿・法堂・方丈からなる禅宗伽藍跡とされた。昭和48年の第二次(発掘)調査では総門・三門跡が検出された。さらに、大館市教育委員会が昭和59～61年まで発掘調査した結果、14世紀代の遺物は皆無で、12世紀から13世紀初頭のかわらけ・舶載陶磁器・須恵器系中世陶器(珠洲系陶器)が出土し、12世紀後半の寺院跡と推定されている。この頃の大館地方は、「吾妻鏡」に藤原泰衡、比内(肥内)郡、贅柵、河田次郎の記述があるがあるように、奥州藤原氏との関係が知られており、それとの関連が注目されている。

出土遺物は、舶来品である中国白磁四耳壺片と、12世紀に上限をもつかわらけ、12世紀後半から13世紀初頭にかけての須恵器系中世陶器(珠洲系陶器)の鉢・甕片である。また、かわらけは轆轤と手づくねで作られた皿、小皿、碗の3器種がある。

帝釈寺跡(60)

『秋田県遺跡地図(中央版)』によれば、本遺跡は「寺院跡」であり、「阿弥陀如来立像、珠洲陶片」が出土したと記されている。

【神社跡】

日吉神社跡(67)

『秋田県秋田市遺跡詳細分布調査報告書』によると、掲載資料の珠洲系陶器壺(第39図523、図版8-37)は上新城中学校敷地内から出土したようであるが、詳細は不明である。

【宗教関連と考えられる遺跡】

長森遺跡(15)

掲載した壺(第40図526、図版9-41)・四耳壺(第40図527・528、図版9-42・43)は、『大館市の文化財』によると、「大森弘氏が所有地の耕地転換を行った際、沢中の水田中から偶然発見したもの」で、長森台地の南端に七ツ館を構えた館主によって水口祭のような農耕儀礼の際に使用(埋納)した壺であろうと

考えられており、宗教的性格が看取される。

祓川 I 遺跡 (52)

周辺には、南北時代(1331～1391年)に天台宗から真言宗に改宗したという長楽寺と五社堂などや、本山(標高715.1m)・真山(標高567m)を経て北浦の真山神社に通ずる修行道などがあり、宗教に関連すると考えられる中世の遺跡である。

磯村亨氏による「男鹿市祓川 I 遺跡出土の中世陶器―特に越前・珠洲系陶器について―」『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第12号によれば、遺跡範囲内にある長楽寺西側の池を昭和32年に養魚場にする時と、昭和62・63年に長楽寺本堂裏の斜面が崩壊した際に、中世～現代にかけての陶磁器と共に珠洲系陶器が出土したとされている。その器種は甕、壺の2種である。なお、遺跡は長楽寺内にかかっており、出土した珠洲系陶器は、この寺に由来するものと思われる。

劔花山の鹿島神社 (106)

掲載資料は、日野久氏によって『秋田考古学』第38号の誌上に紹介されている。それによると、大正15年6月14日、劔花山に鎮座する鹿島神社境内で発見されたようである。この場所は、元和6年頃に廃城となったと伝えられる大森城の出曲輪とされている。出土器種は、壺(第39図524、図版8-38)と片口鉢(第39図525、図版8-39)の2種である。また、資料は壺の中に入っていた水晶の玉1個と共に、木製の箱(図版8-40)に納められている。

(5) その他の出土地

今回確認した、その他の珠洲系陶器出土地(遺跡)は58箇所である。このうち遺跡の分布・範囲確認調査と発掘調査によって資料が発見された出土地は33箇所であり、残り25箇所は耕作や工事等によって偶然資料が発見された出土地である。それらの出土地とその器種〔挿図番号：図版番号〕は、以下のとおりである。

鹿角市歌内遺跡 (1)	：出土器種は、甕か壺である。
鹿角市一本杉遺跡 (2)	：出土器種は、甕、壺の2種である。
比内町大日堂前遺跡 (7)	：出土器種は、擂鉢〔531〕である。
大館市粕田遺跡 (16)	：出土器種は、擂鉢〔532〕である。
藤里町大屋敷 (19)	：出土器種は、擂鉢〔533〕である。
二ツ井町槻木 (21)	：出土器種は、甕か壺〔534〕である。
二ツ井町大倉遺跡 (22)	：出土器種は、甕か壺である。
二ツ井町切石 (23)	：出土器種は、四耳壺〔529：44〕、甕〔536〕の2種である。
二ツ井町切石小学校 (24)	：出土器種は、壺〔535〕である。
二ツ井町(採集地不明)	：出土器種は、四耳壺〔530：45〕である。
八森町土井遺跡 (28)	：出土器種は、広口壺〔537〕、小壺〔538〕である。
峰浜村内林遺跡 (29)	：出土器種は、甕〔539・540〕、甕か壺〔541～545〕である。
能代市神田遺跡 (32)	：出土器種は、擂鉢である。
能代市田床内遺跡 (35)	：出土器種は、擂鉢〔547〕である。
能代市仁井田白山遺跡 (36)	：出土器種は、擂鉢〔546：49〕である。
能代市新山前遺跡 (37)	：出土器種は、擂鉢である。
	※新山神社境内から出土したが、同社との関係は不明
能代市苗代沢遺跡 (38)	：出土器種は、甕か壺〔548・549〕である。

- 能代市腹鞆の沢遺跡 (39) : 出土器種は、甕か壺 [552～560] である。
- 能代市小友Ⅲ遺跡 (43) : 出土器種は、甕か壺 [550・551] である。
- 能代市上の山Ⅱ遺跡 (44) : 出土器種は、甕か壺 [561・526] である。※526はエヒバチ長根窯跡産
- 山本町外岡南 (45) : 出土器種は、甕か壺 [563・564] である。
- 八竜町扇田谷地遺跡 (47) : 出土器種は、甕、播鉢の2種である。
- 若美町福田遺跡 (48) : 出土器種は、播鉢である。
- 秋田市大沢遺跡 (61) : 出土器種は、甕 [624] である。
- 秋田市高田遺跡 (63) : 『秋田市遺跡詳細分布調査報告書』によると、「珠洲系陶器」出土と記されているが、器種は不明
- 秋田市待入Ⅲ遺跡 (64) : 出土器種は、甕か壺 [565～575]、小壺 [576・577]、播鉢 [579～600]、鉢 [578] の4種である。
- 秋田市長面Ⅳ遺跡 (65) : 『秋田市遺跡詳細分布調査報告書』によると、「珠洲系陶器」出土と記されているが、器種は不明。
- 秋田市山ノ下Ⅱ遺跡 (68) : 『秋田市遺跡詳細分布調査報告書』によると、「珠洲系陶器」出土と記されているが、器種は不明。
- 秋田市秋田城跡 (71) : 出土器種は、甕 [602～613]、壺 [614・621・622]、片口鉢 [619]、播鉢 [601・616～618]、鉢 [620] の5種である。
- 秋田市鶴ノ木 (72) : 出土器種は、壺 [624：46] である。
- 秋田市寺内 (73) : 出土器種は、壺 [623：47] である。
- 秋田市黒沢勝手神社 (76) : 出土器種は、甕 [626] である。
- 秋田市大杉沢遺跡 (78) : 出土器種は、壺 [627～635] である。※628～635は同一個体
- 秋田市古野遺跡 (81) : 出土器種は、壺 [636：48] である。
- 本荘市深沢 (84) : 出土器種は、甕 [637] である。
- 本荘市上谷地遺跡 (85) : 出土器種は、播鉢 [638・639]、鉢 [640] の2種である。
- 本荘市土谷遺跡 (86) : 出土器種は、甕か壺である。
- 由利町鳴瀬台C地区 (88) : 出土器種は、甕か壺である。
- 仁賀保町馬場 (91) : 出土器種は、壺 [641：50] である。
- 象潟町カウヤ遺跡 (92) : 出土器種は、播鉢 [642～644] である。
※珠洲編年の第Ⅵ期 (15世紀後半) に比定される。
- 矢島町 (94) : 出土器種は、甕 [645・646]、播鉢 [647～649] の2種である。
- 矢島町土田家 (95) : 出土器種は、甕 [650～652] である。
- 南外村北田山田ヶ沢Ⅰ遺跡 (97) : 出土器種は、甕 [655]、播鉢 [654] の2種である。※654は大畑窯跡産
- 南外村北田山田ヶ沢Ⅱ遺跡 (98) : 出土器種は、壺 [656：52] である。※大畑窯跡産
- 南外村小出Ⅰ遺跡 (99) : 出土器種は、壺 [660：51]、播鉢 [661] の2種である。
- 南外村小出Ⅱ遺跡 (100) : 出土器種は、甕か壺である。※大畑窯跡産
- 南外村小出Ⅲ遺跡 (101) : 出土器種は、甕 [653・659]、壺 [658]、播鉢 [657] の3種である。

※653は大畑松山窯跡産

- 仙北町一ツ森遺跡(104) : 出土器種は、壺〔662:53〕である。
- 横手市本田下遺跡(108) : 出土器種は、甕である。
- 横手市手取清水遺跡(111) : 出土器種は、甕〔663～667〕、壺〔668〕、擂鉢〔670～689〕、瓶子〔669〕の4種である。
- 増田町平鹿遺跡(113) : 出土器種は、片口鉢〔703～705〕である。
- 羽後町院内沢遺跡(116) : 出土器種は、壺〔706:54〕である。
- 雄勝町桐木田遺跡(120) : 出土器種は、壺〔702〕、片口鉢〔690～701〕の2種である。

※691・693・694・702は大畑窯跡産と考えられる。

壺〔707:55〕は、出土地不明であり、秋田県立博物館に保管されている。

おわりに

昭和60年度に秋田県内で確認された珠洲系陶器の出土地(遺跡)は、窯跡2、館跡21、集落跡4、宗教的遺跡9、その他の出土地22の計58箇所であったが、今回の集成作業では、窯跡4、館跡45、集落跡4、宗教的遺跡13、その他の出土地58の計124箇所の出土地を上げることができた。この12年間で開発事業に伴う遺跡の発掘調査や遺跡の分布・範囲確認調査によって発見例が増えた結果であり、さらに遺跡の発掘調査などが増加すれば、珠洲系陶器の出土例も多くなることが見込まれる。

本稿が、珠洲系陶器(須恵器系中世陶器)を出土する遺跡の年代や性格と、その流通などを探る上での基礎資料として、いささかでも役立てれば幸いである。

起稿にあたっては、発掘調査報告書・研究論文・会誌・市町村史など数多くの文献を引用させていただいたが、事実誤認があれば筆者の責任である。御批判いただければ幸いである。

なお、本稿(上)の(4)宗教的遺跡の記述は、^(註3)不備な点があったので編集係の承諾を得て、本号で改訂し本文を正式なものとさせていただいた。また、掲載した珠洲系陶器資料図の縮尺は、第37図516の珠洲系陶器資料を5分の1、以外の掲載資料を4分の1とした。

最後に、粗忽な筆者に本稿を執筆するきっかけを与えて下さった櫻田隆氏、珠洲系陶器の写真を快く提供して下さった日野久氏、色々と情報を提供してくれた藤井安正氏、花海義人氏、和泉昭一氏、磯村亨氏、伊藤攻氏、掲載写真作りを手伝ってくれた藤原堅晃氏、原稿に目を通して校正してくれた高橋学氏、そして筆者を支えてくれた同僚に記して感謝申し上げますと共に、今後も御助言、御協力をお願いする次第であります。

註1 庄内昭男「秋田県出土の古鏡集成」『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第9号 秋田県埋蔵文化財センター 1994(平成6)年

註2 註1に同じ

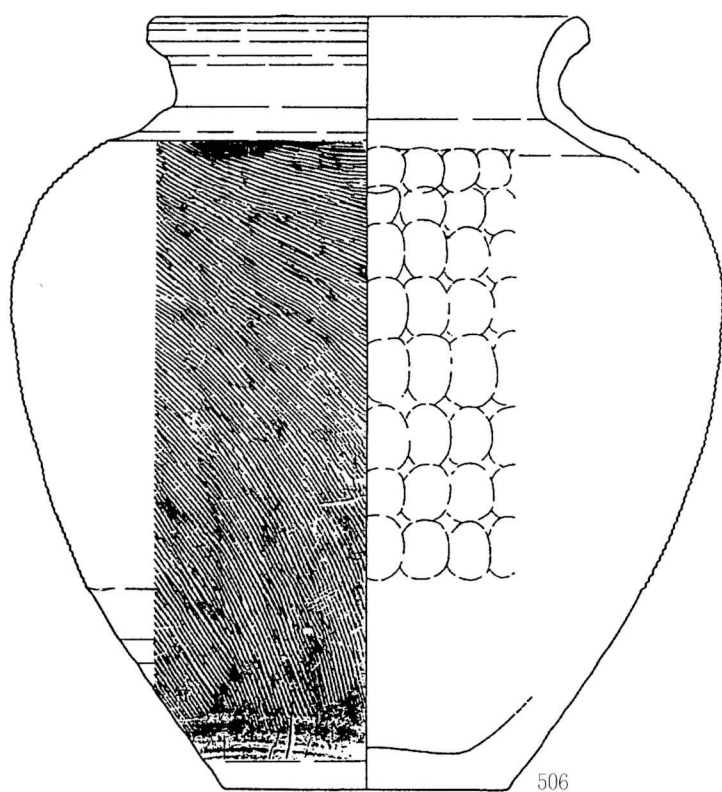
註3 栗澤光男「秋田県出土の珠洲系陶器資料集成(上)」『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第12号 秋田県埋蔵文化財センター 1997(平成9年) p25～26

珠洲系陶器出土一覧（補遺）

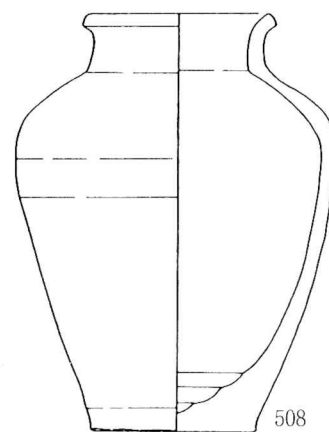
番号	出土地名	所在地	文献番号および備考
121	妻の神Ⅰ遺跡	鹿角市花輪字妻の神	81
122	石鳥谷館跡	鹿角市八幡平字石鳥谷	82
123	洲崎遺跡	南秋田郡井川町浜井川字洲崎	秋田県教育委員会で調査
124	猿田遺跡	由利郡西目町出戸字猿田	83

引用・参考文献

- 81 秋田県教育委員会『東北縦貫自動車道発掘調査報告書Ⅷ―妻の神Ⅰ遺跡―』秋田県文化財調査報告書第107集
1984（昭和57）年
- 82 秋田県教育委員会『石鳥谷館跡―県道比内大葛鹿角線建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査―』秋田県文化財調査報告書第279集 1998（平成10）年
- 83 西目町教育委員会『猿田遺跡―遺構確認調査報告書』 1994（平成6）年

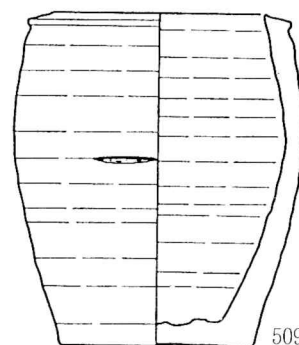


506

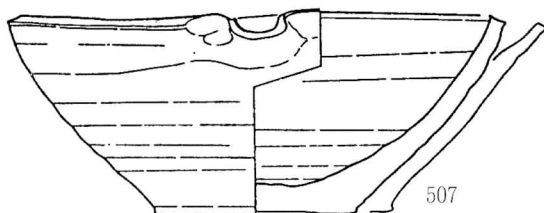


508

加茂青砂経塚

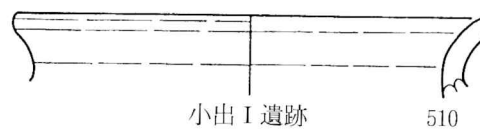


509



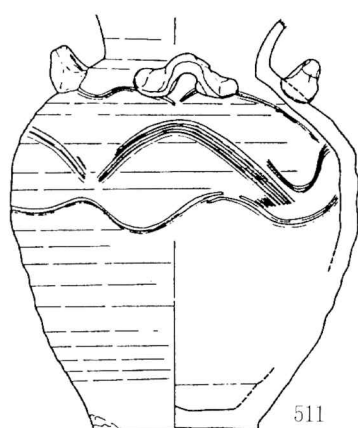
507

御座堂遺跡（五輪台経塚）



510

小出 I 遺跡



511



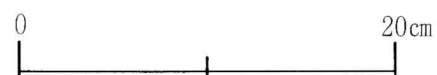
閑居長根 1 号経塚

（509と510：墳墓）

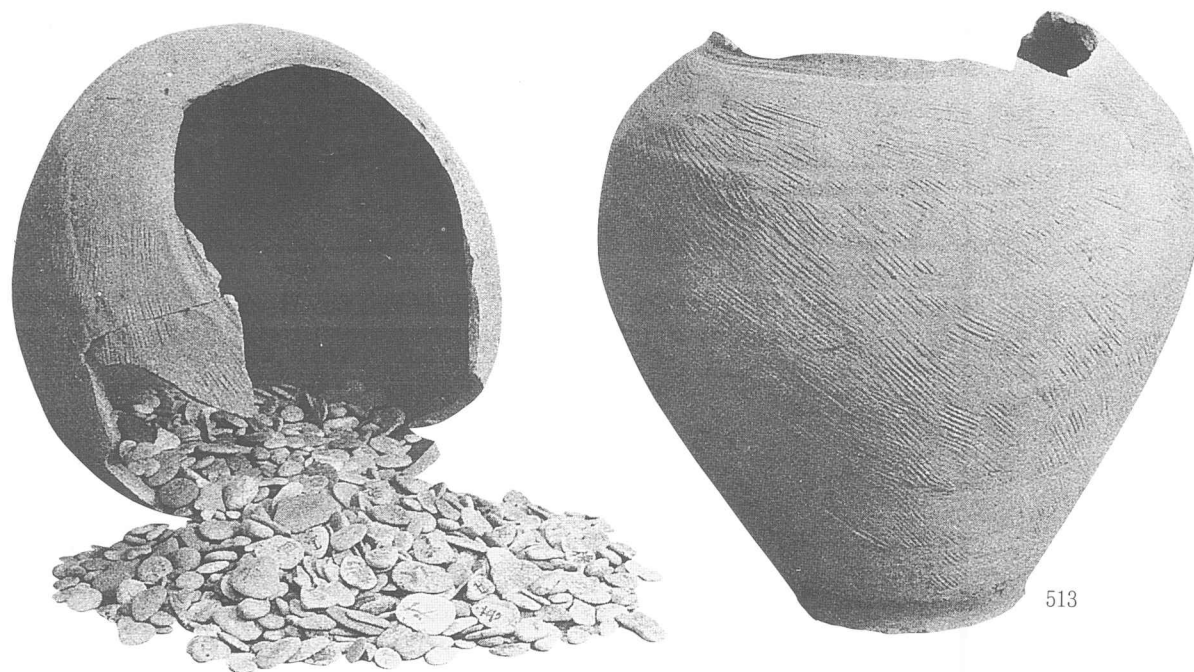


512

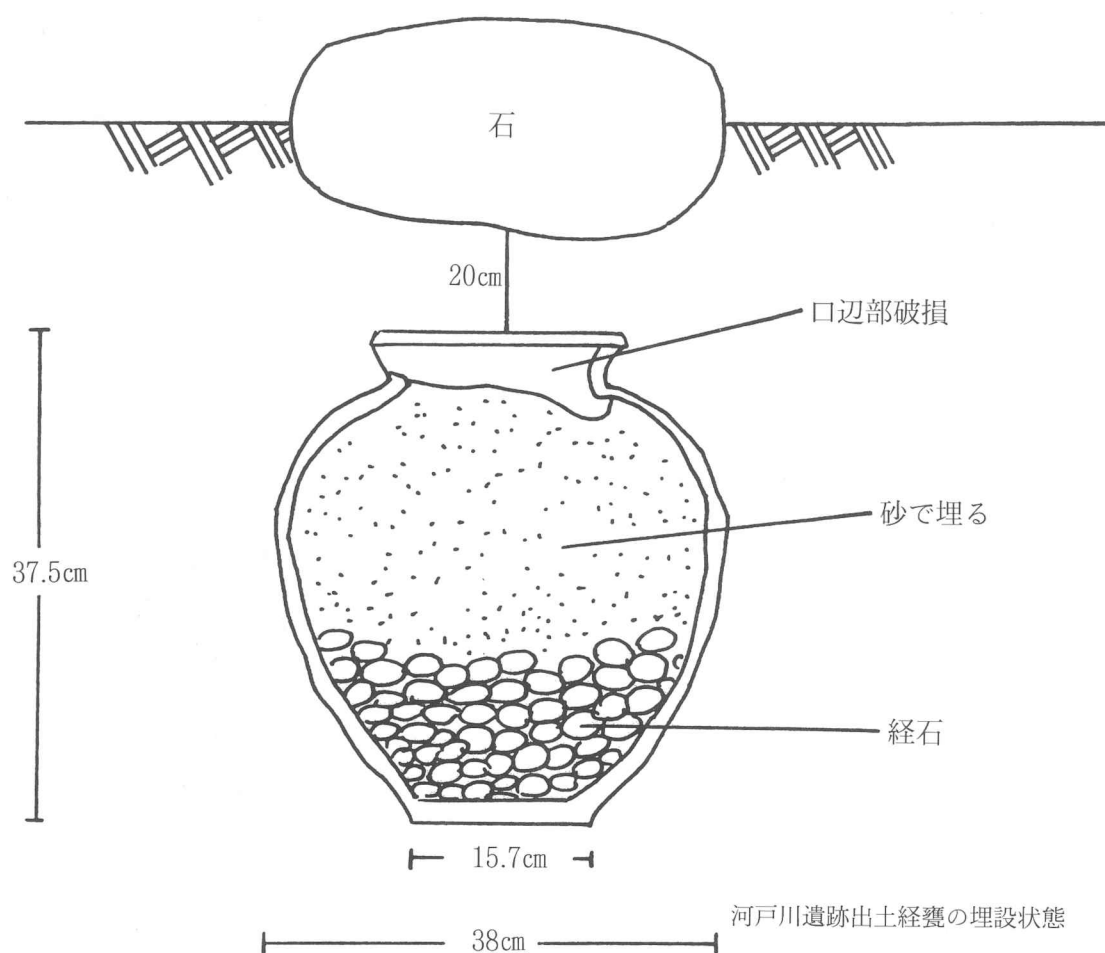
（蘆雁鏡）



第34図 珠洲系陶器資料(33) 経塚出土(1)

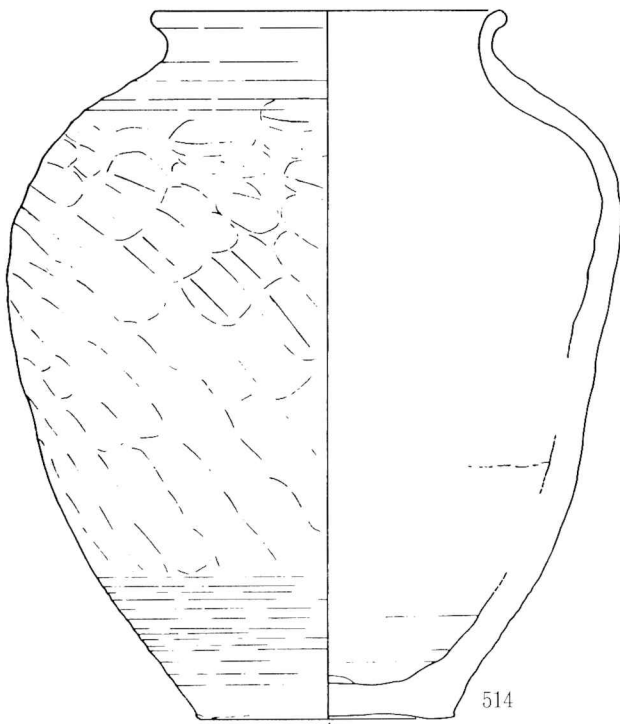


河戸川遺跡出土の経甕

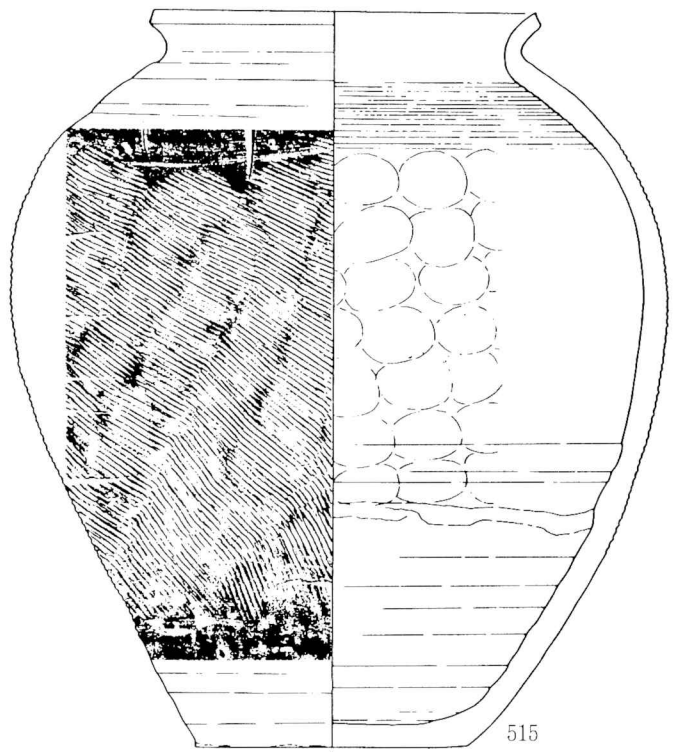


河戸川遺跡出土経甕の埋設状態

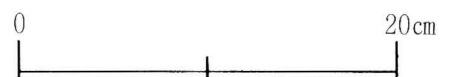
第35図 珠洲系陶器資料(34) 経塚出土(2)



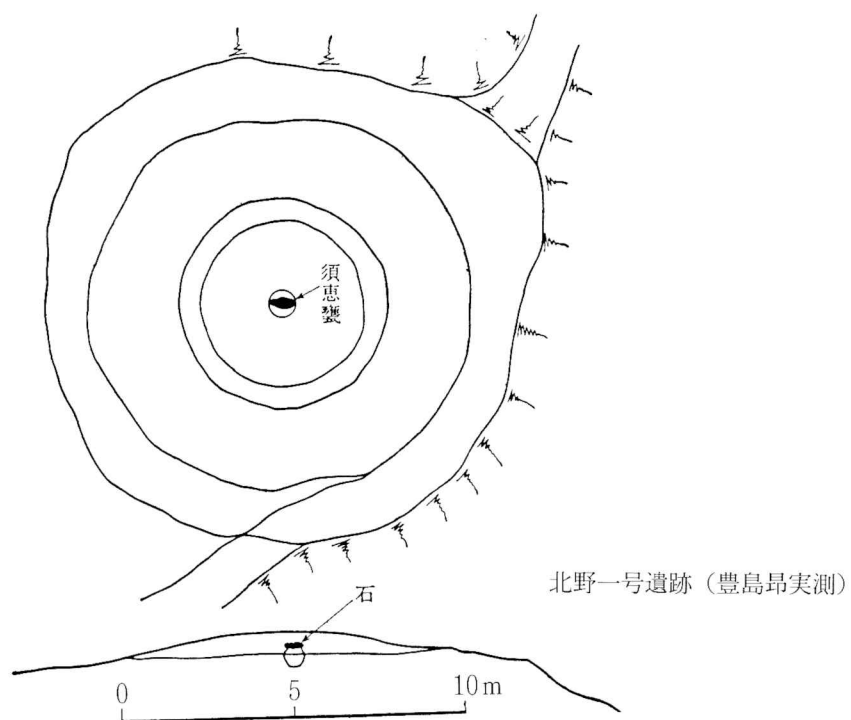
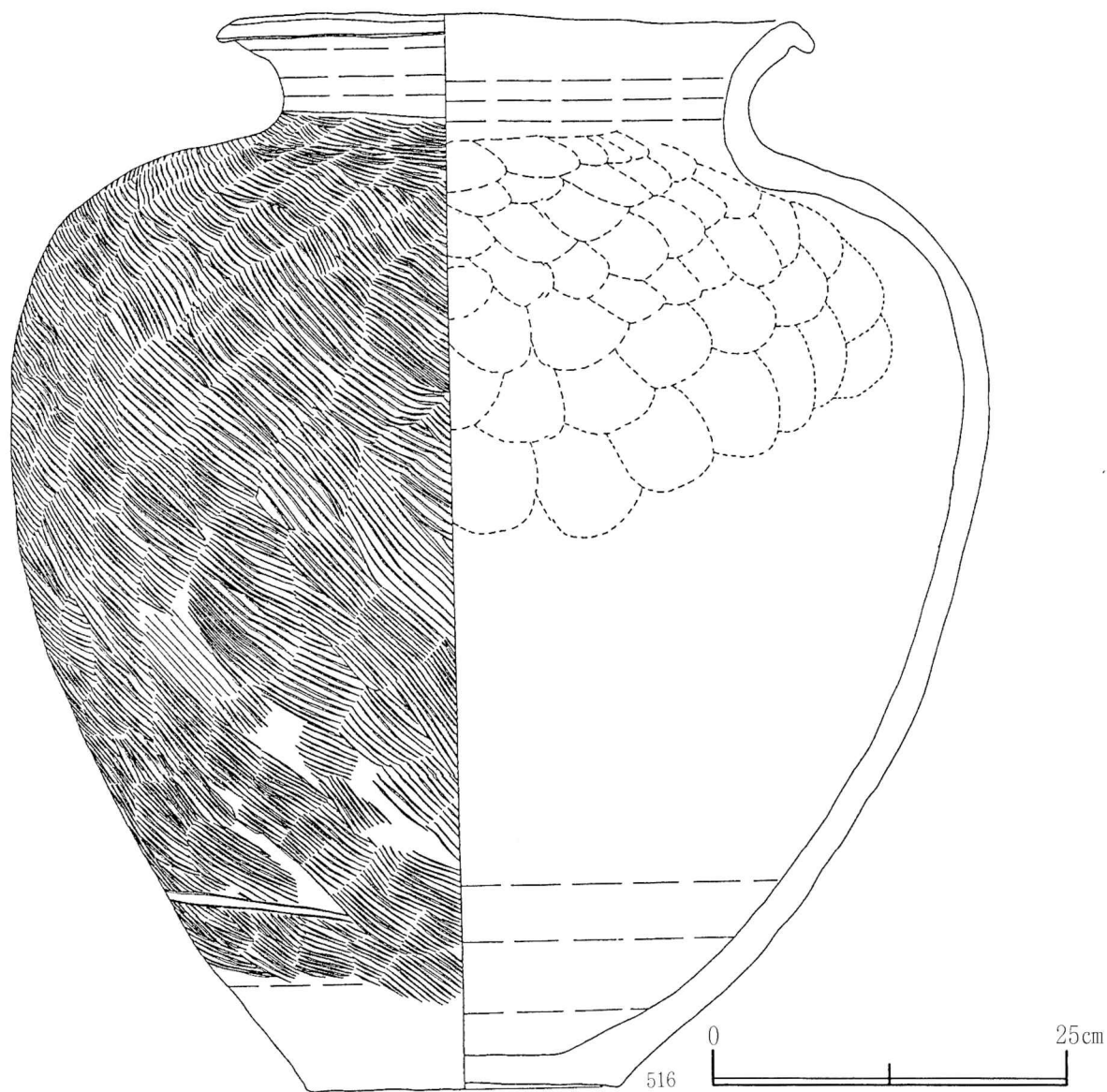
観音寺経塚



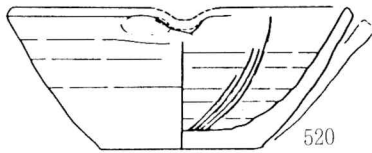
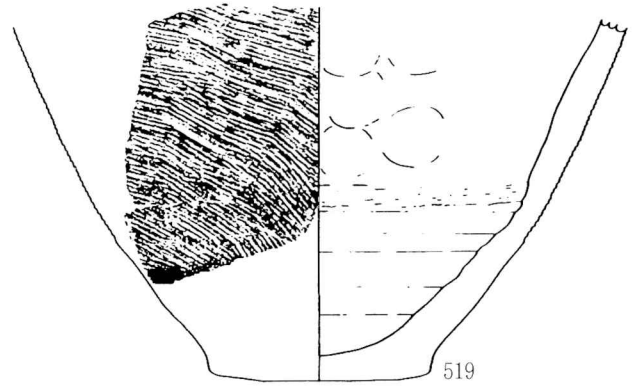
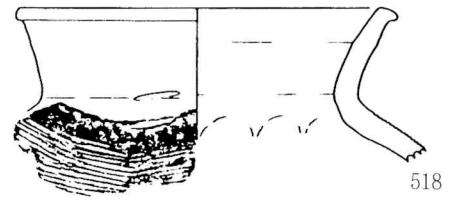
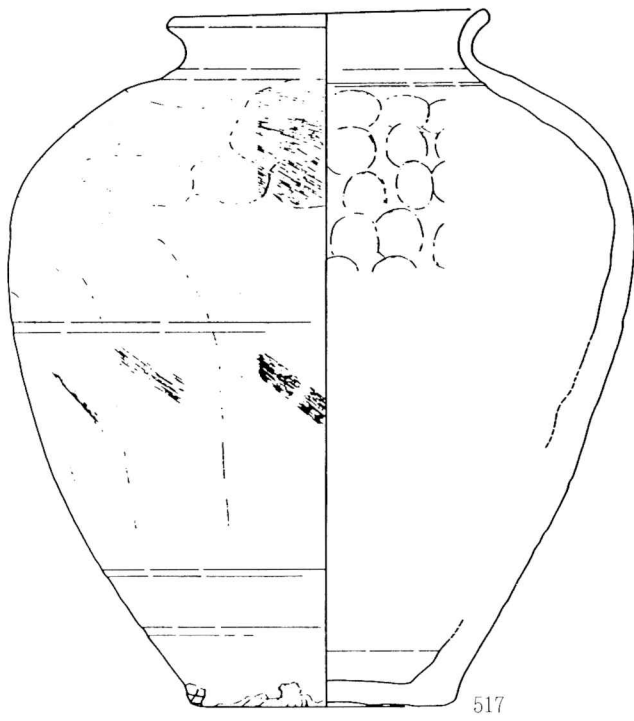
大沢森経塚



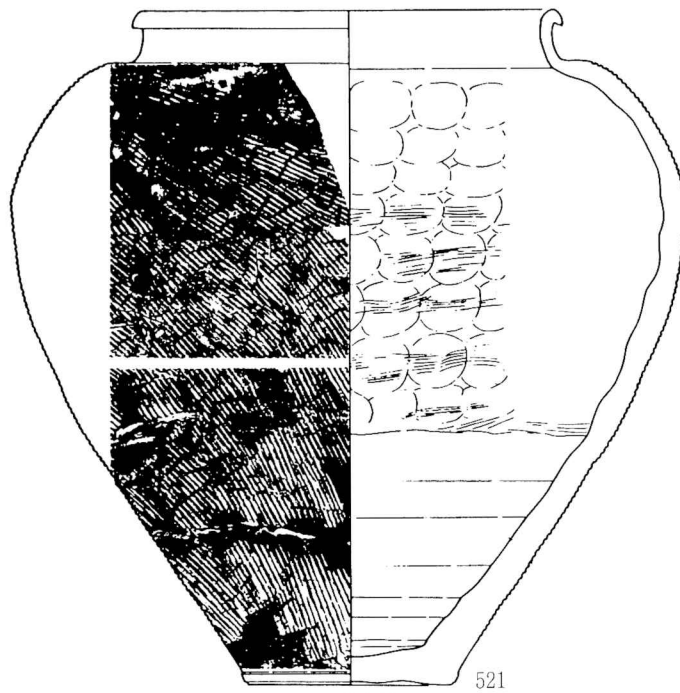
第36図 珠洲系陶器資料(35) 経塚出土(3)



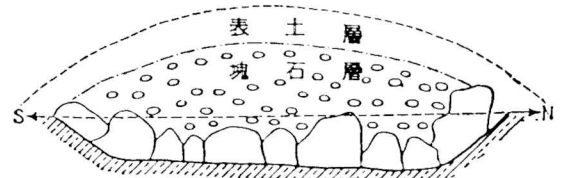
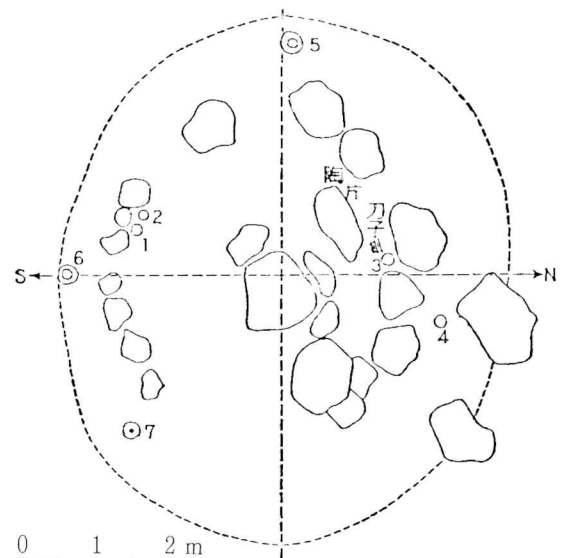
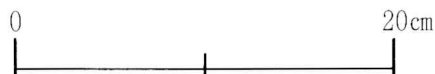
第37図 珠洲系陶器資料(36) 経塚出土(4)



（菊枝薄双雀鏡）

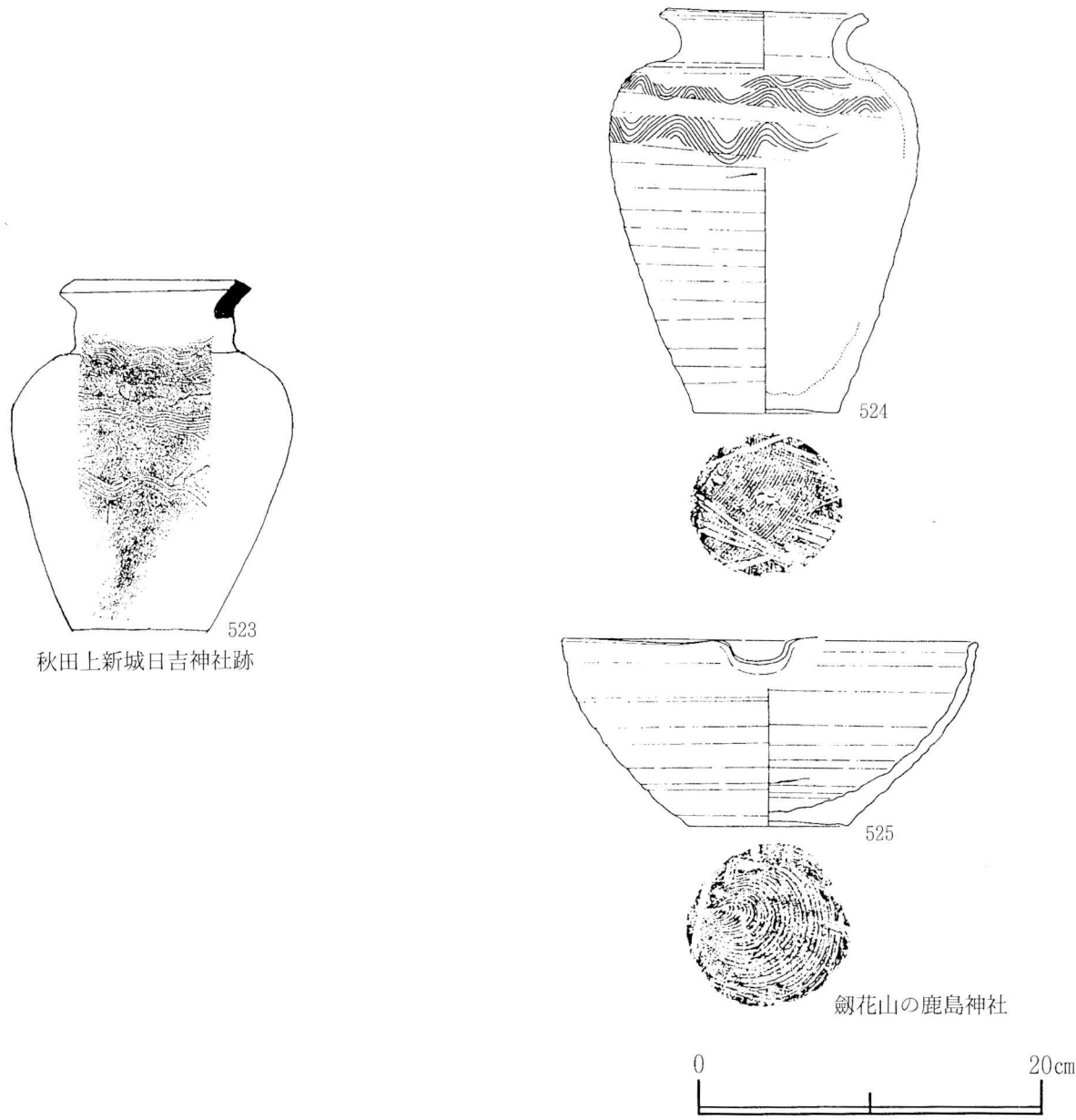


松岡経塚

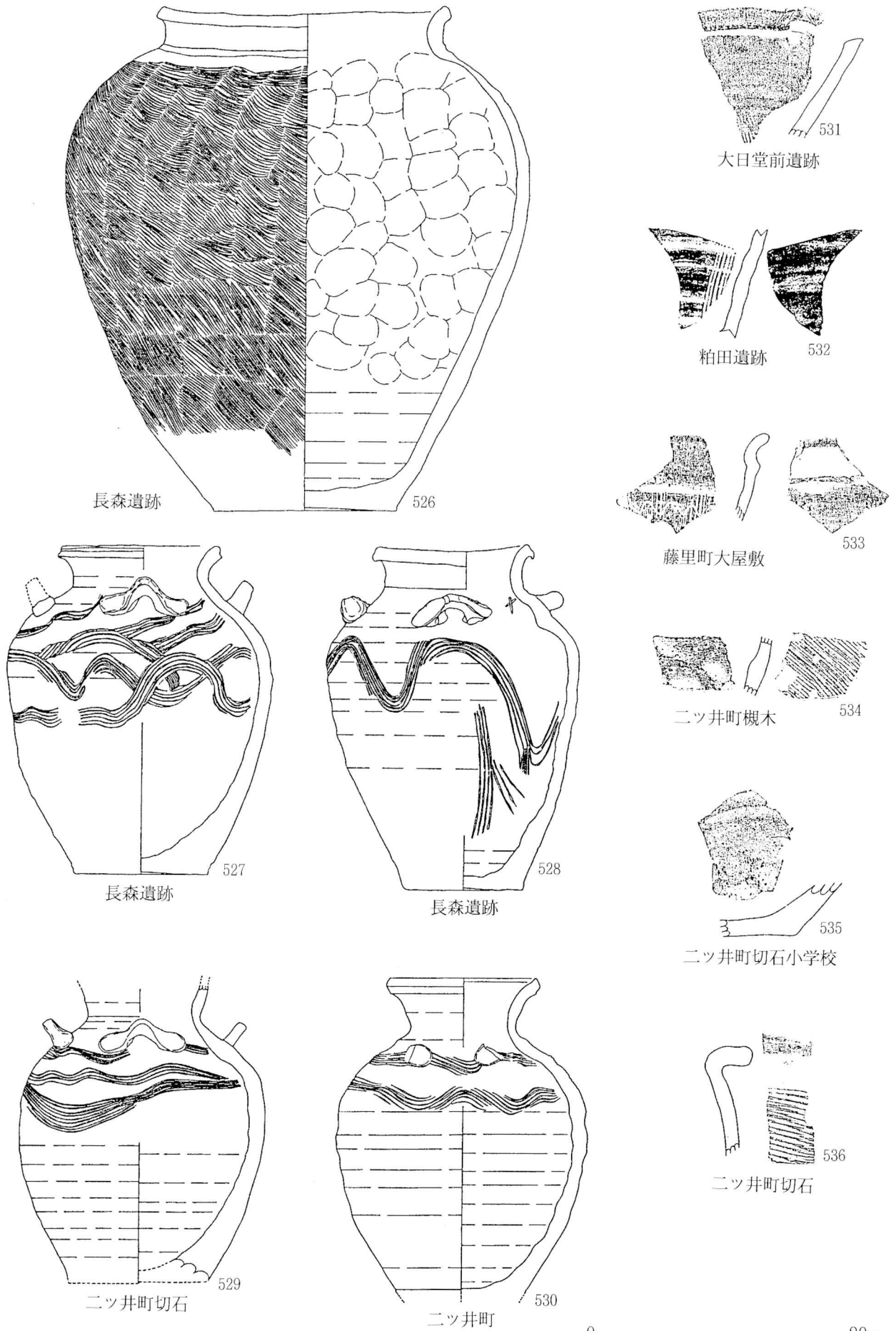


松岡経塚復元図（山下孫継氏図）

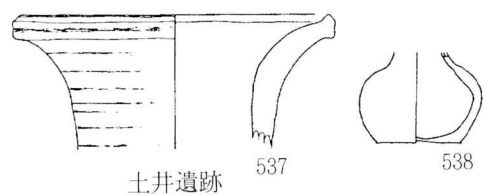
第38図 珠洲系陶器資料(37) 経塚出土(5)



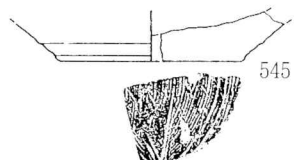
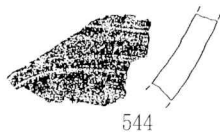
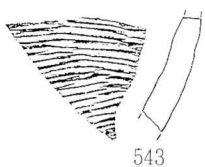
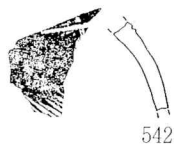
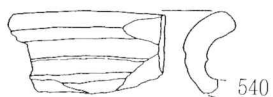
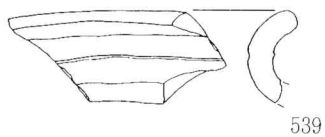
第39図 珠洲系陶器資料(38)



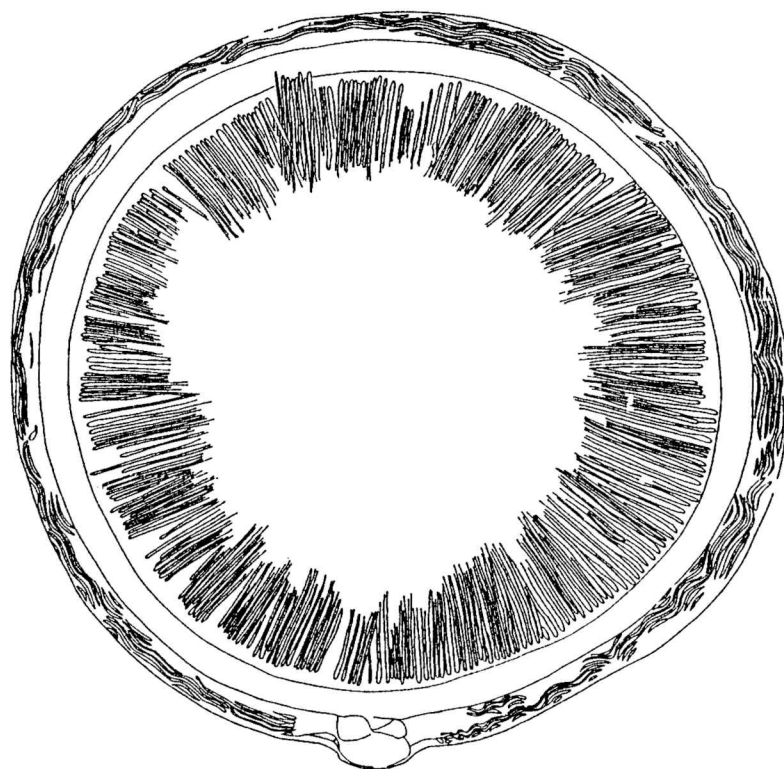
第40図 珠洲系陶器資料(39)



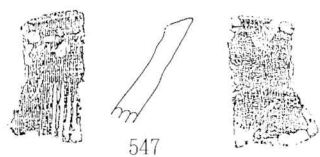
土井遺跡



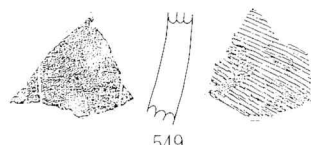
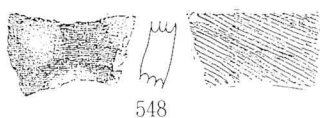
内林遺跡



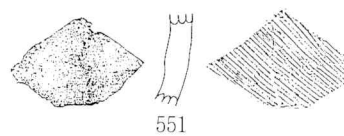
仁井田白山遺跡



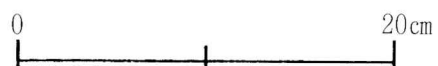
田床内遺跡



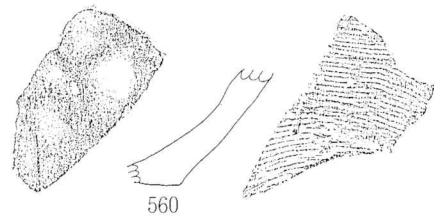
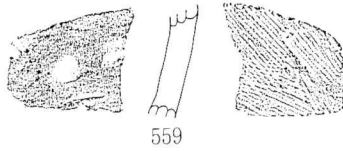
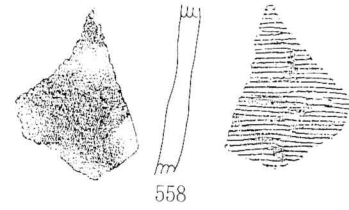
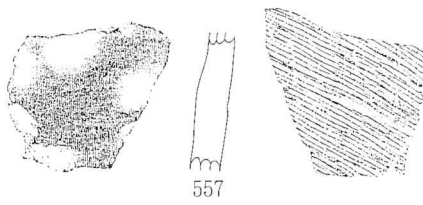
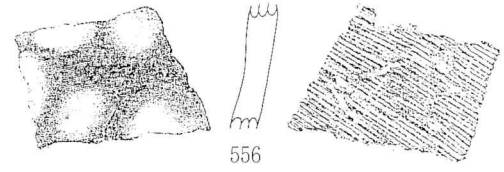
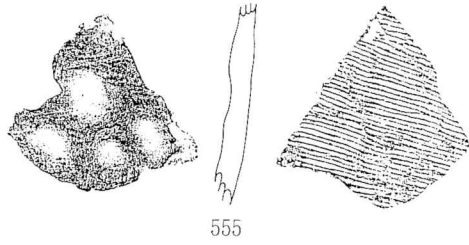
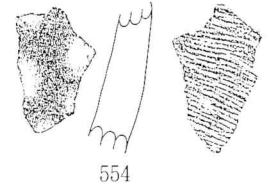
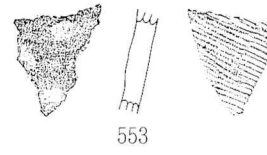
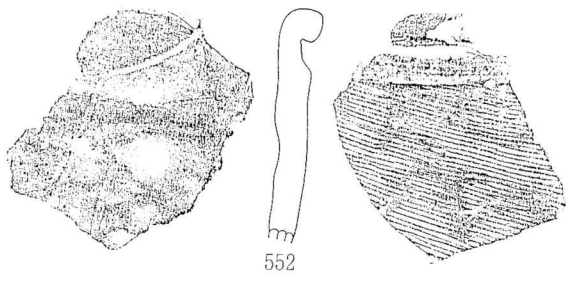
苗代沢遺跡



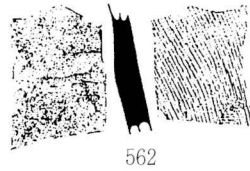
小友Ⅲ遺跡



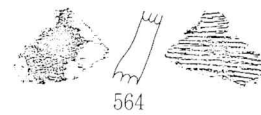
第41図 珠洲系陶器資料(40)



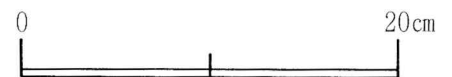
腹鞍の沢遺跡



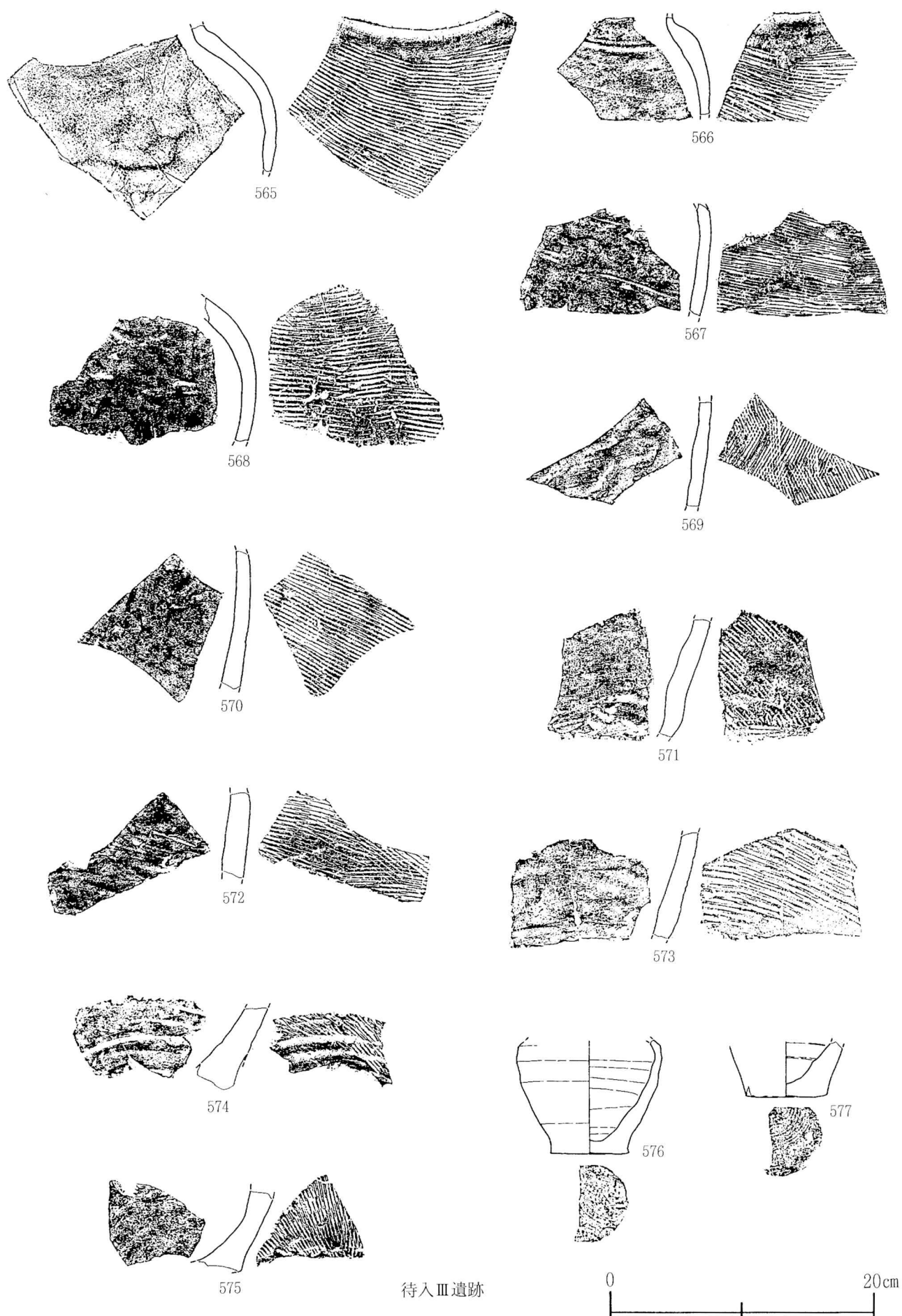
上の山Ⅱ遺跡



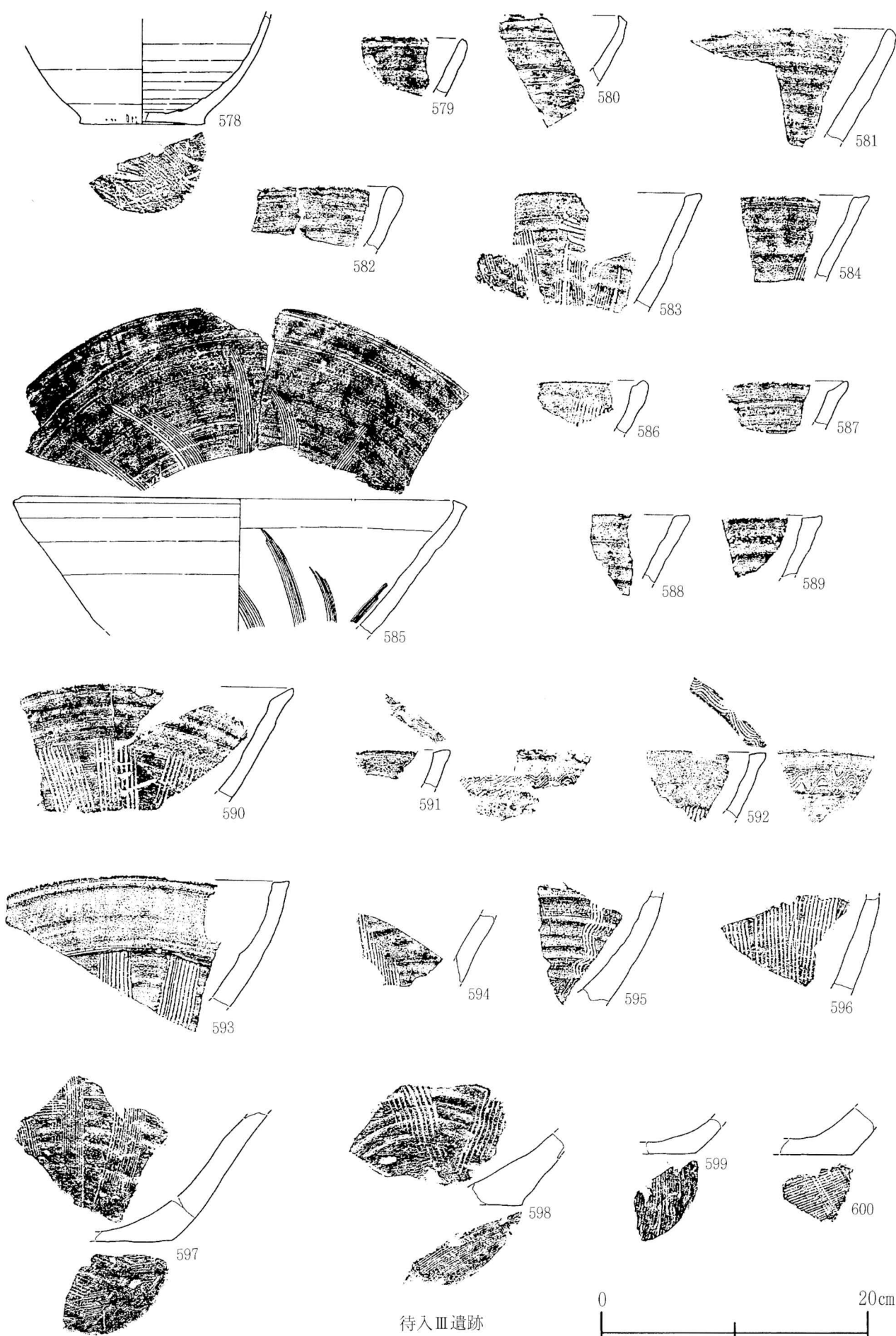
外岡南



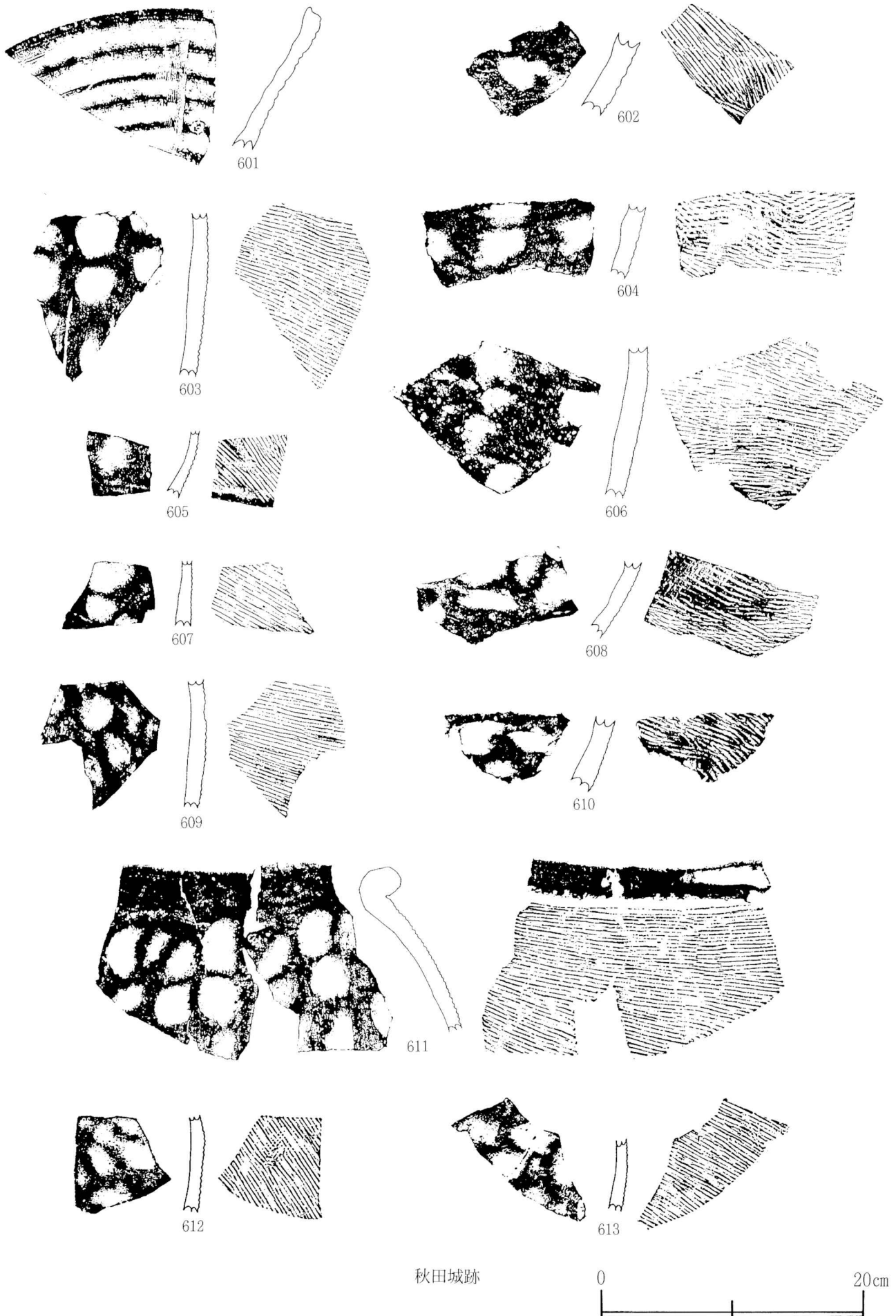
第42図 珠洲系陶器資料(41)



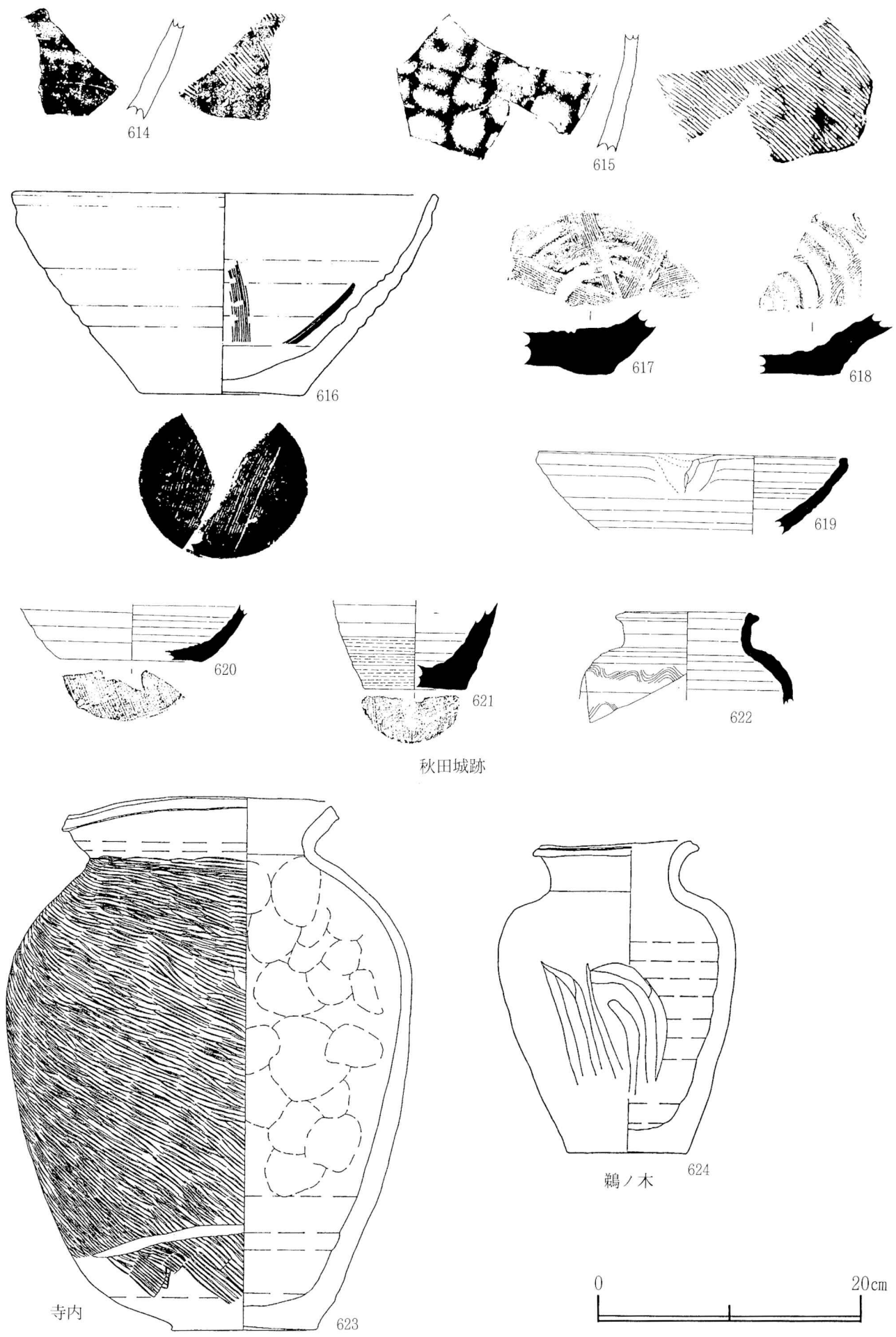
第43図 珠洲系陶器資料(42)



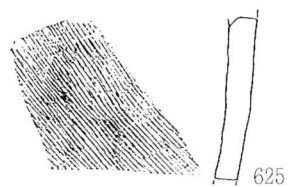
第44図 珠洲系陶器資料(43)



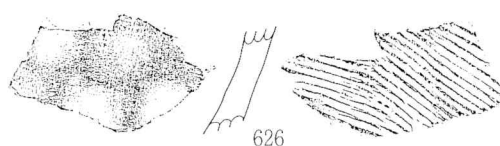
第45図 珠洲系陶器資料(44)



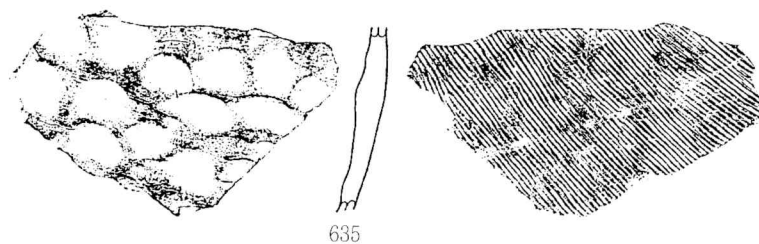
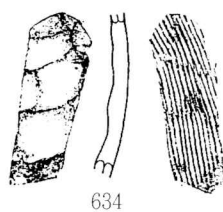
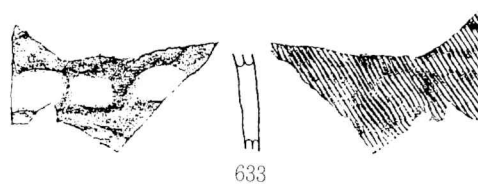
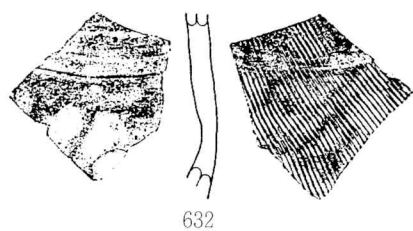
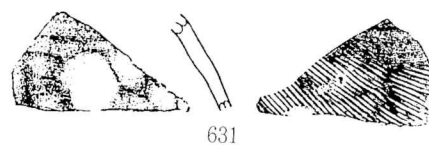
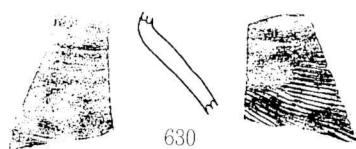
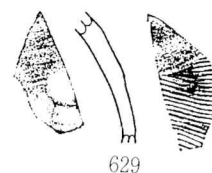
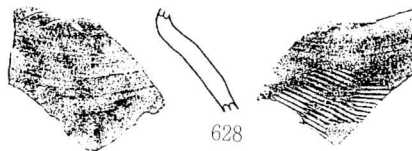
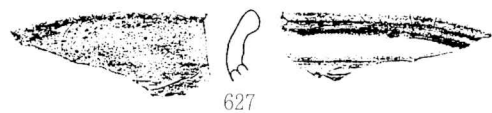
第46図 珠洲系陶器資料(45)



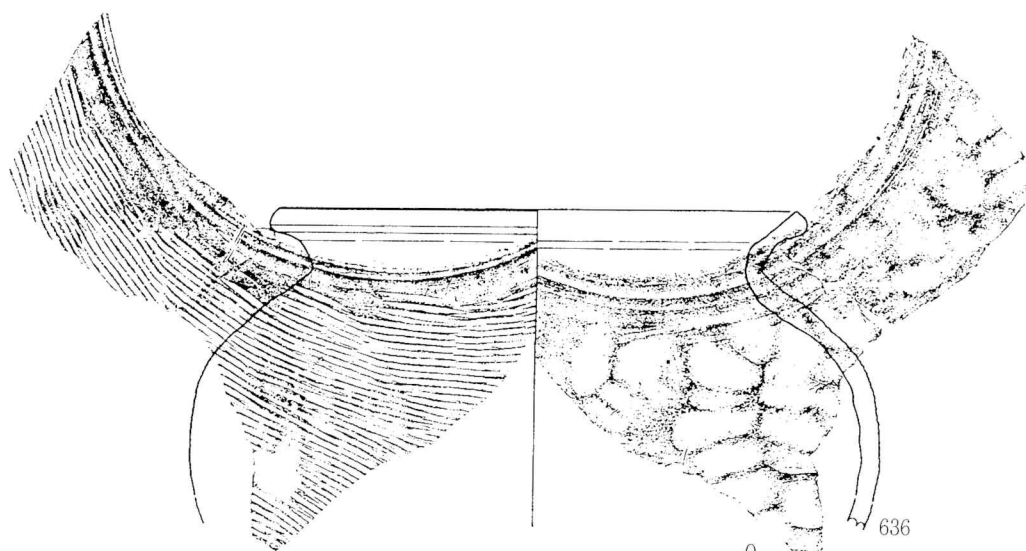
大沢遺跡



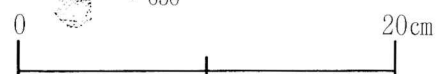
黒沢勝手神社



大杉沢遺跡



古野遺跡



第47図 珠洲系陶器資料(46)

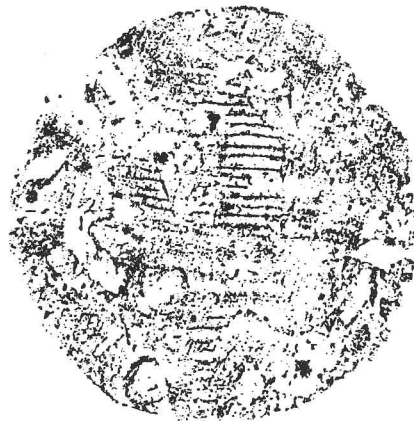


銭貨の入った珠洲系陶器

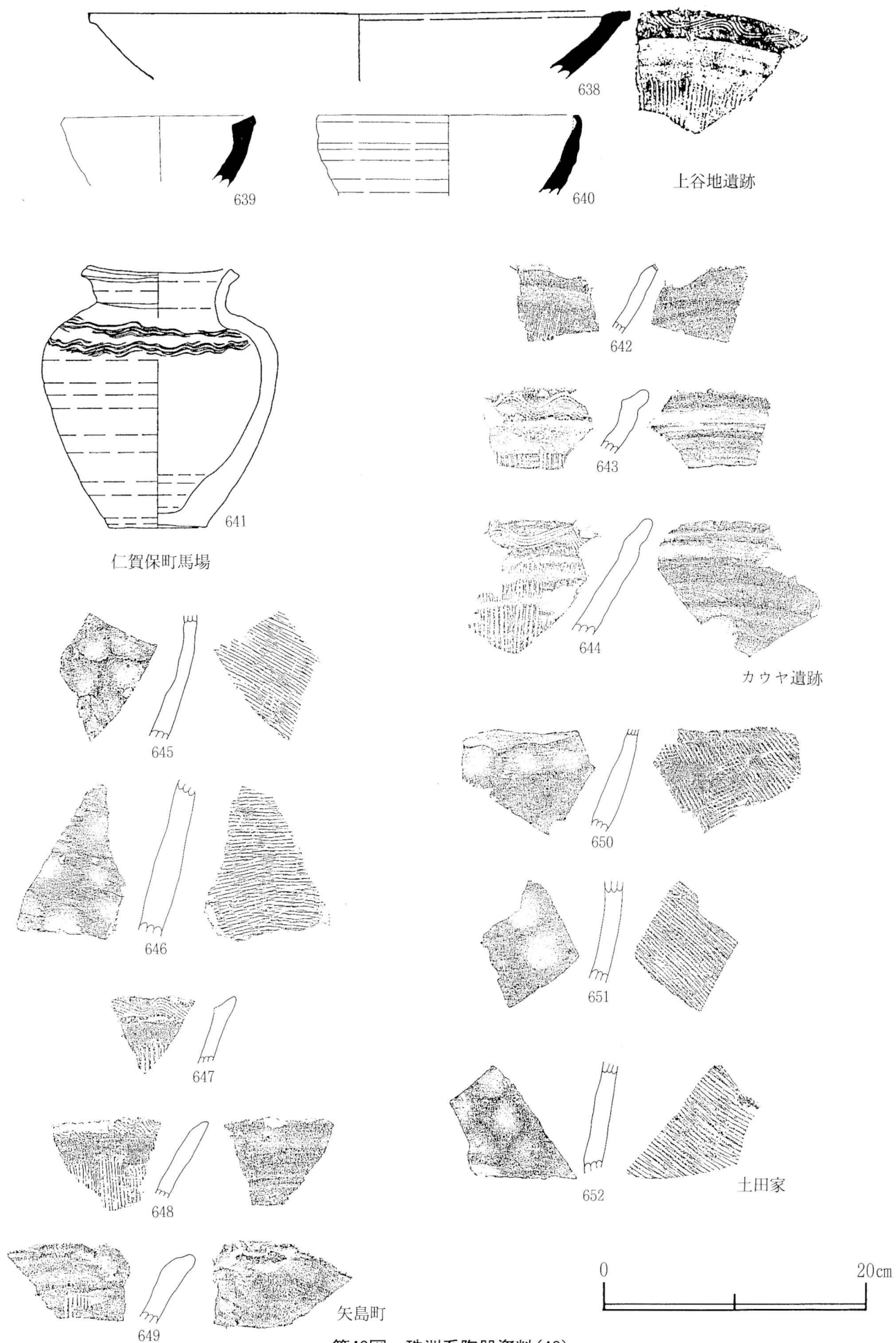


637

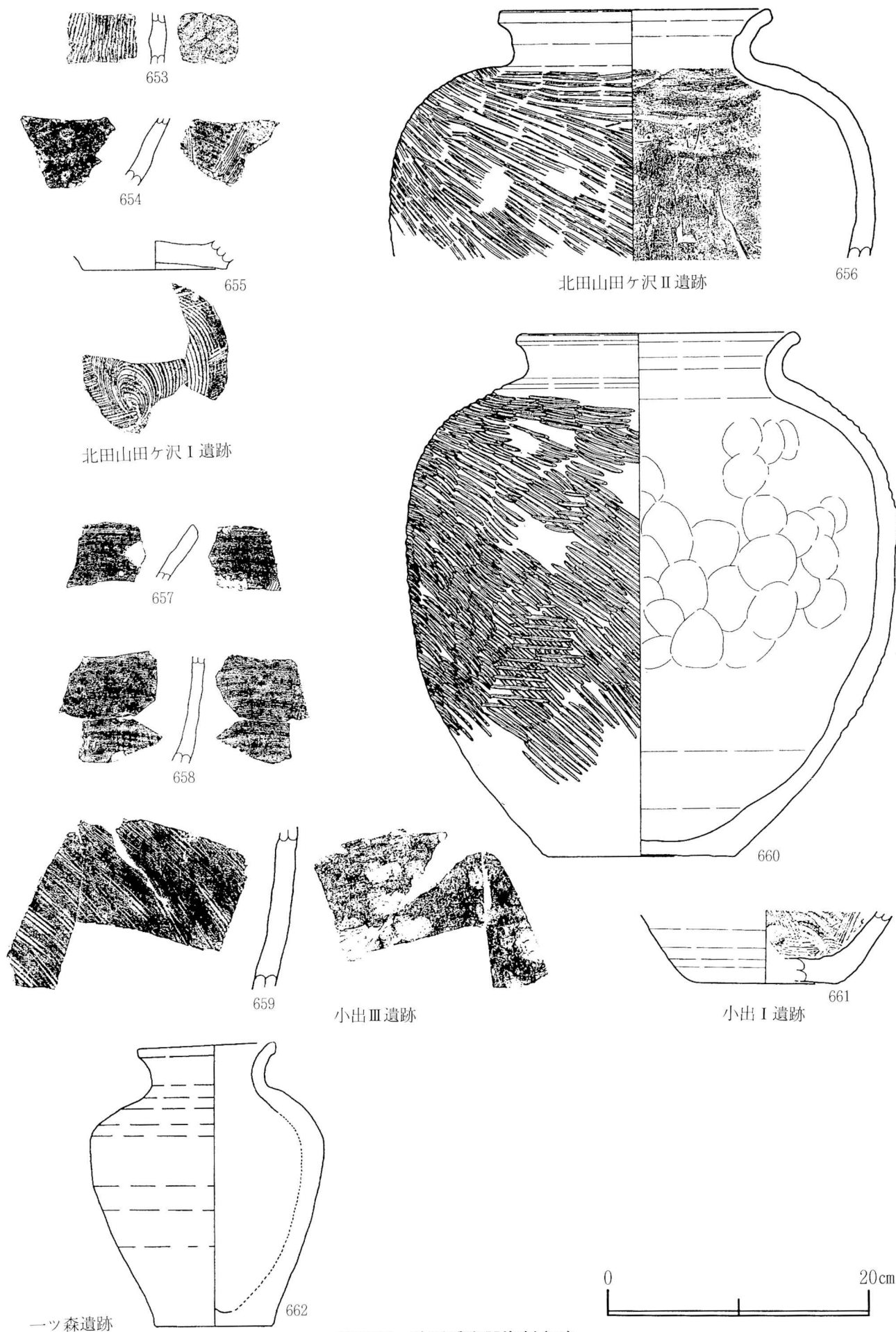
深沢遺跡



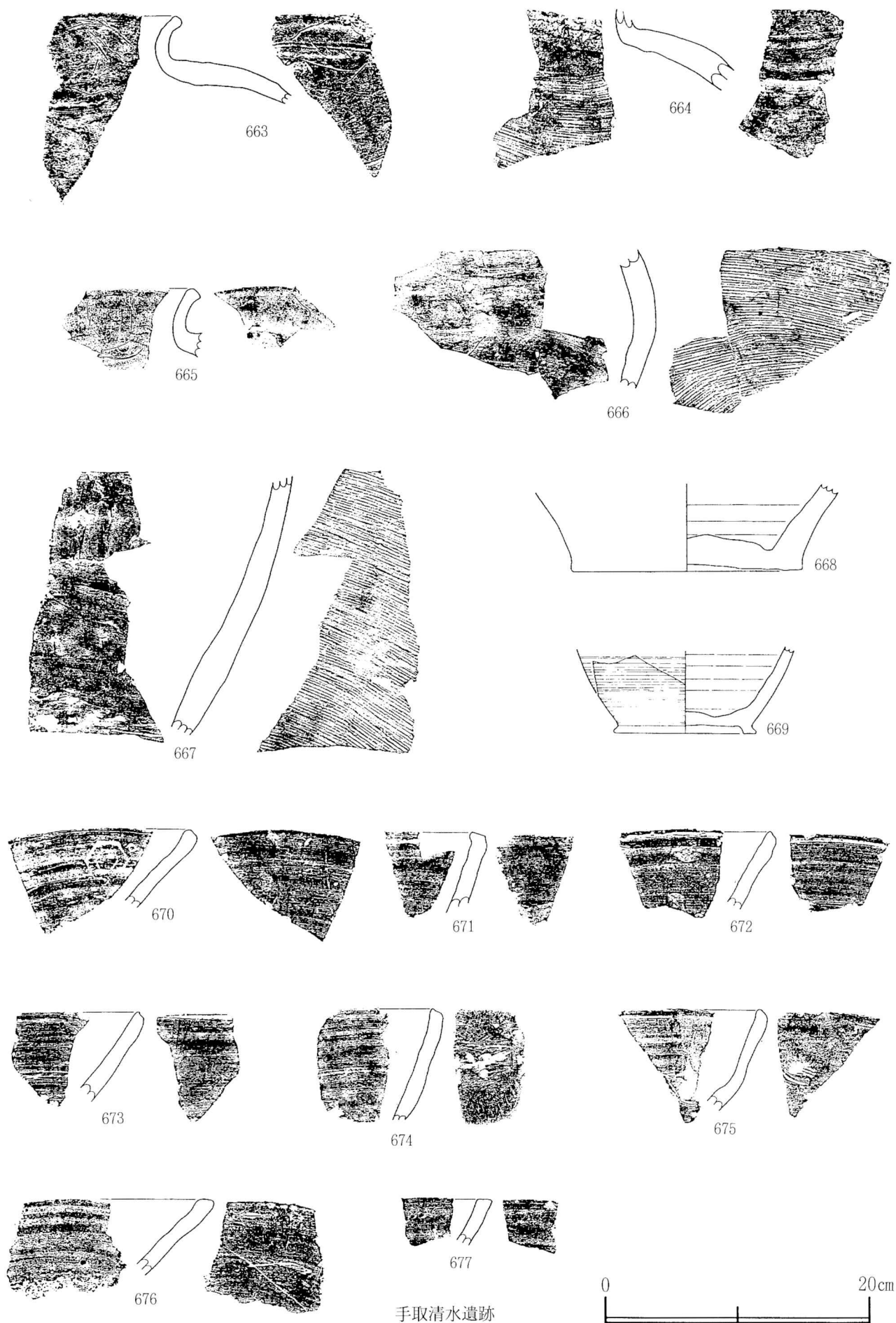
第48図 珠洲系陶器資料(47)



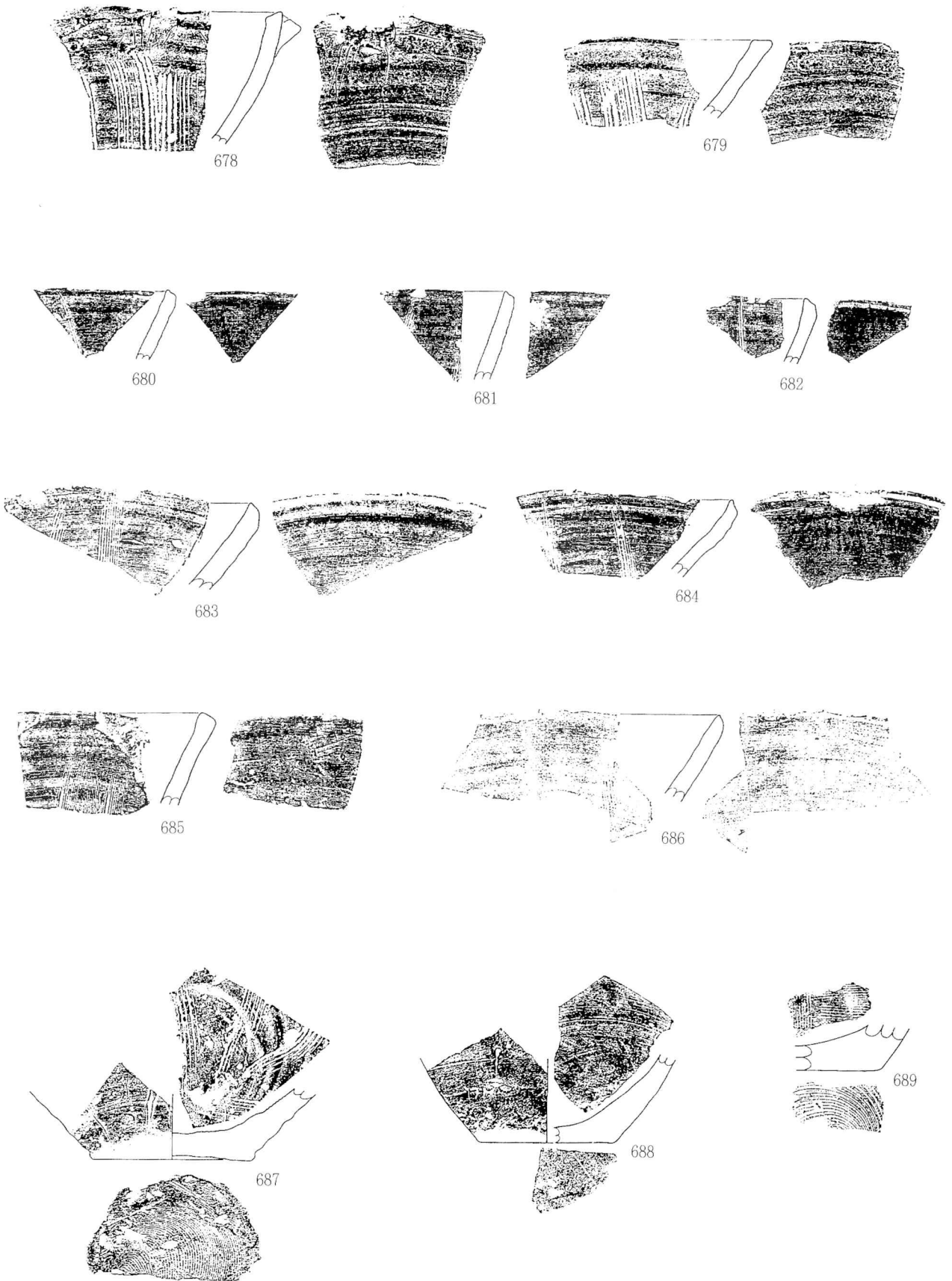
第49図 珠洲系陶器資料(48)



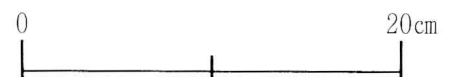
第50図 珠洲系陶器資料(49)



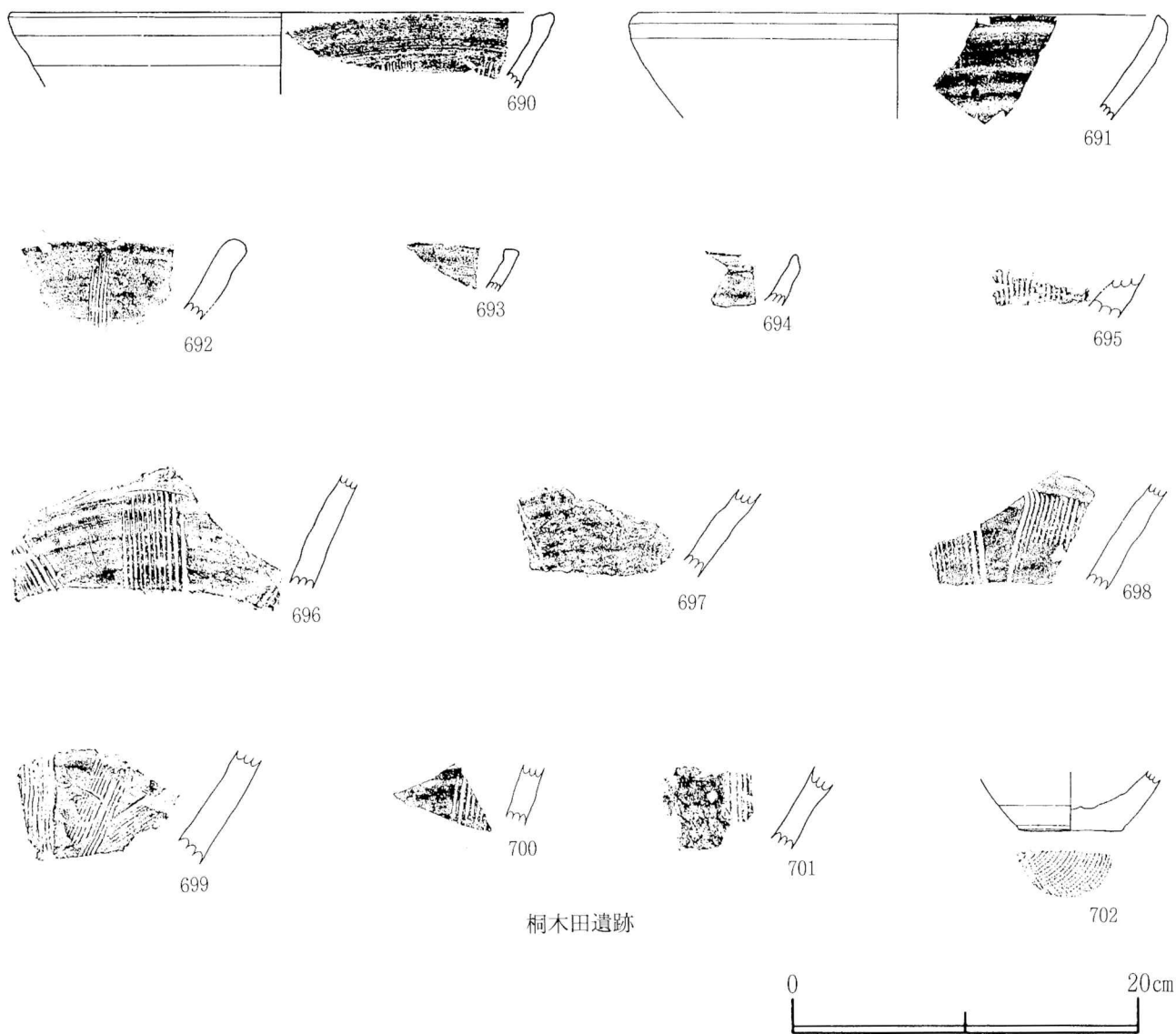
第51図 珠洲系陶器資料(50)



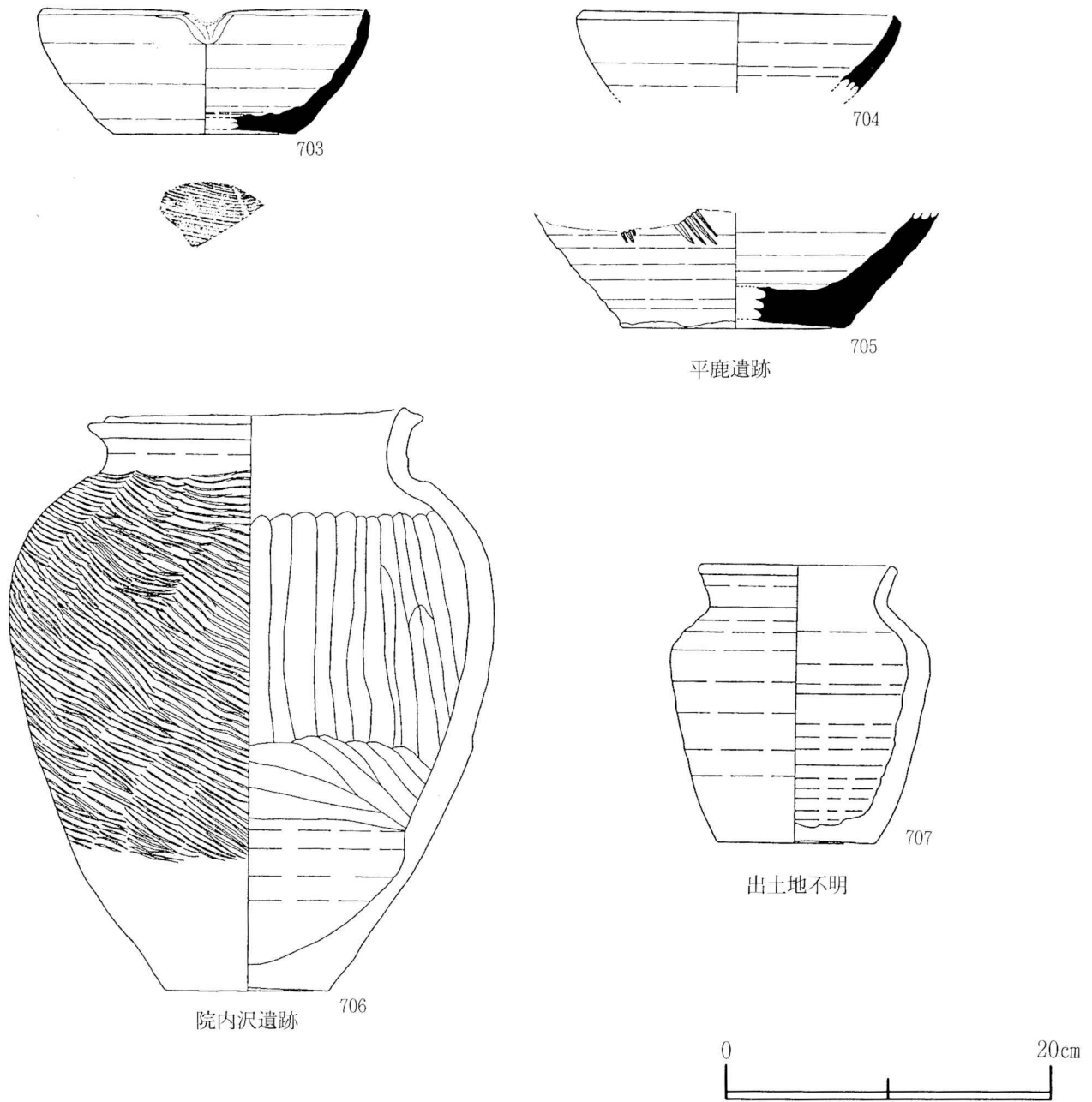
手取清水遺跡



第52図 珠洲系陶器資料(51)

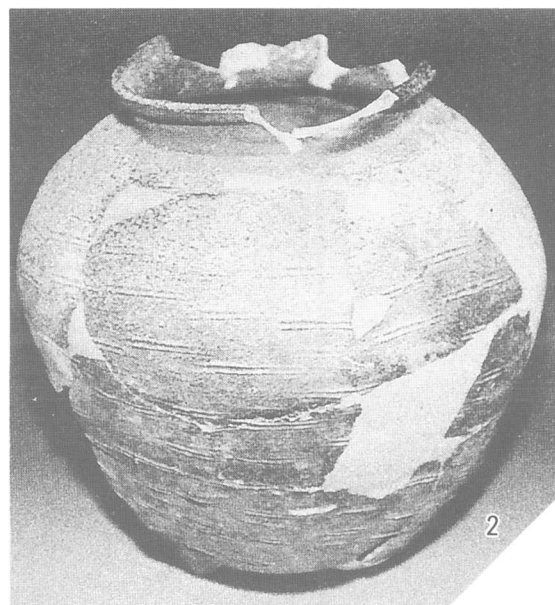


第53図 珠洲系陶器資料(52)

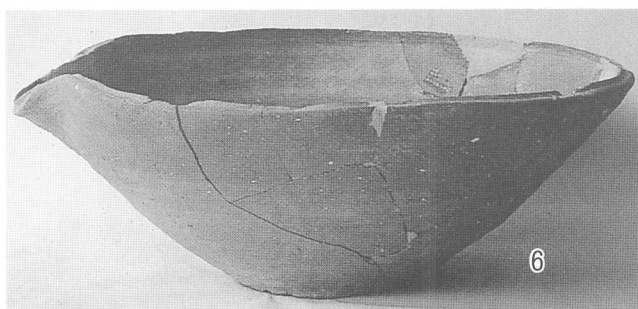
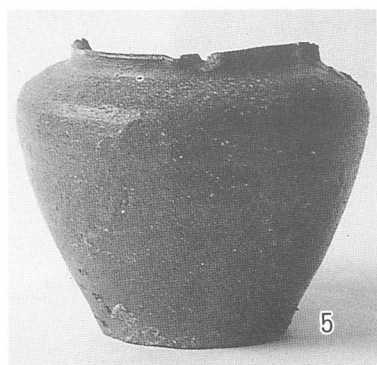
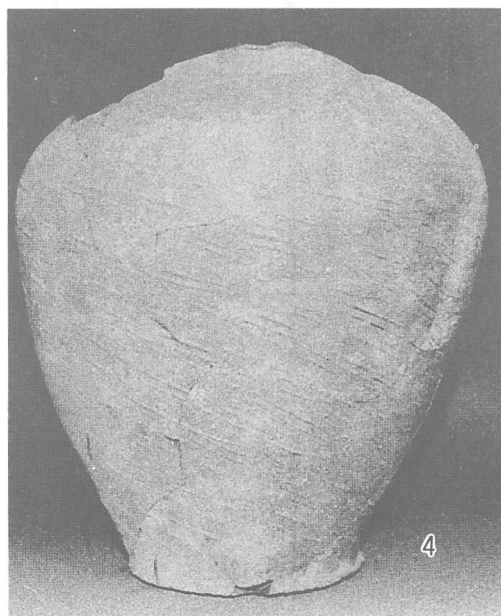
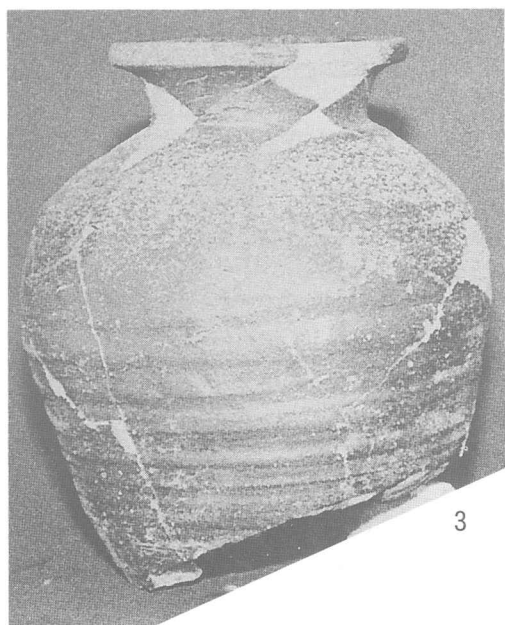


第54図 珠洲系陶器資料(53)

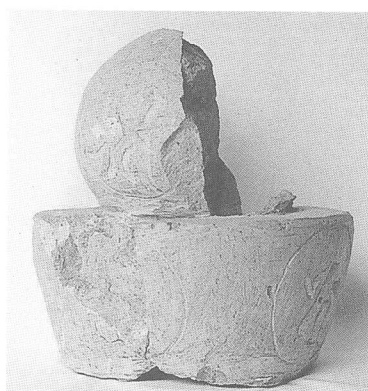
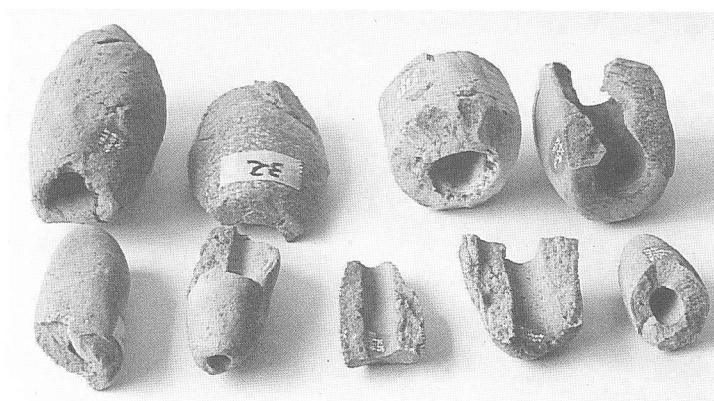
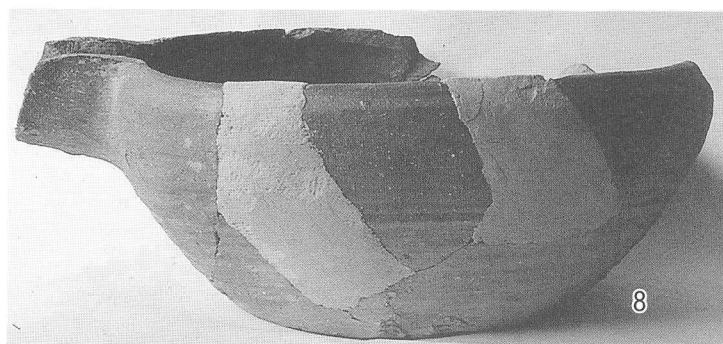
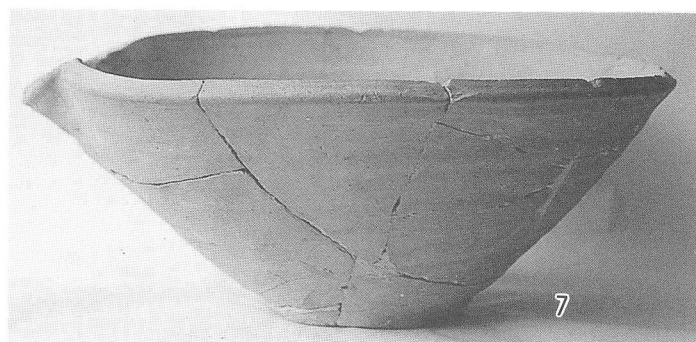
図版
1



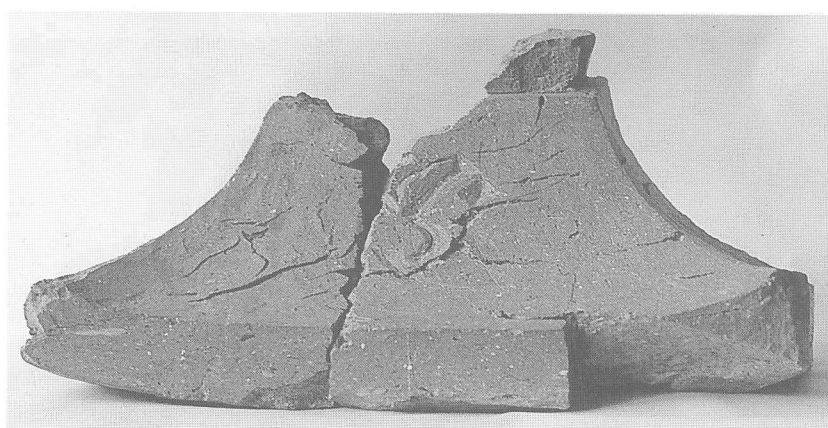
エヒバチ長根窯跡



大畑桧山腰窯跡（2～6）



10



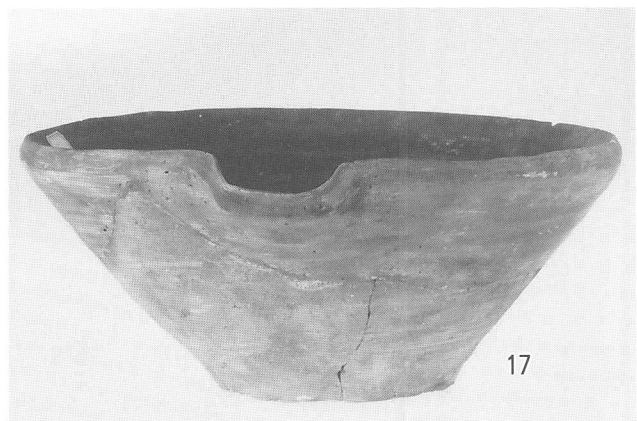
11

大畑桧山腰窯跡

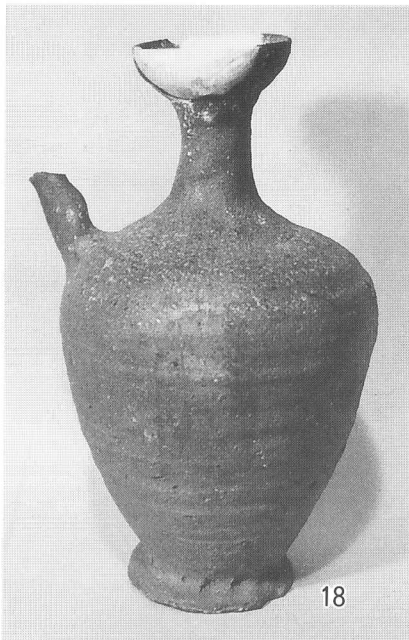
図版
3



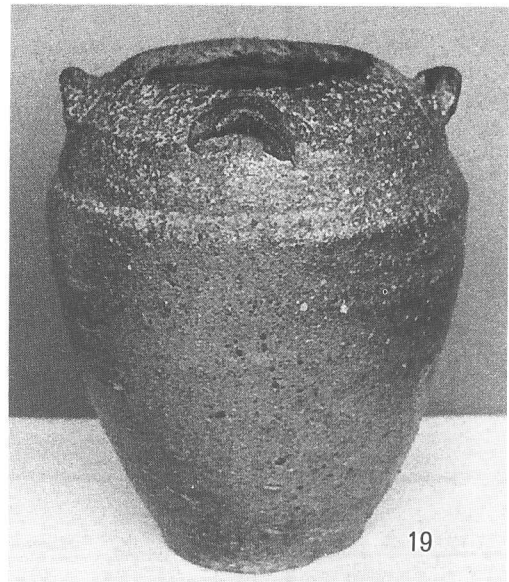
12
大畑桧山腰窯跡



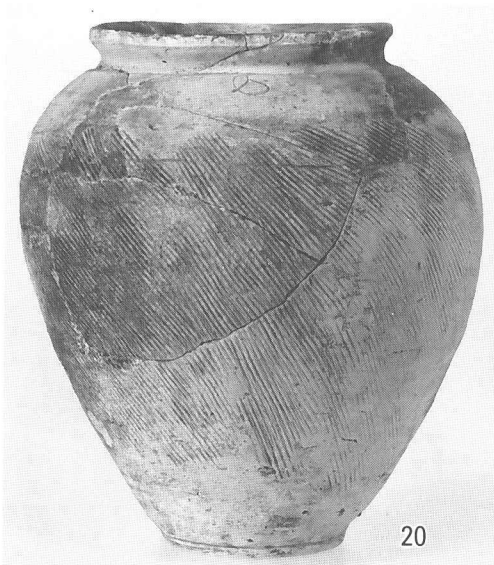
大畑窯跡



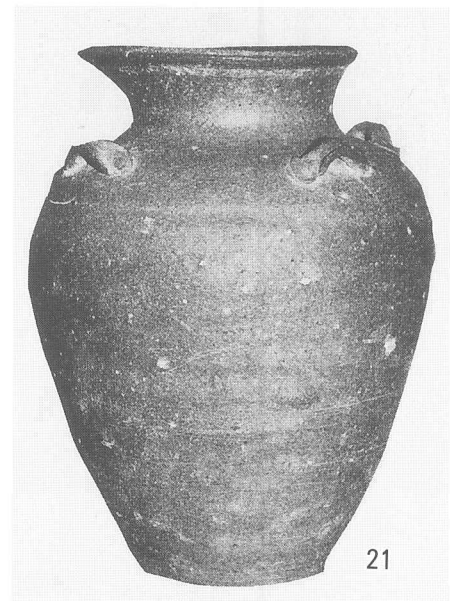
平泉館跡



広ヶ野館跡



長者館跡

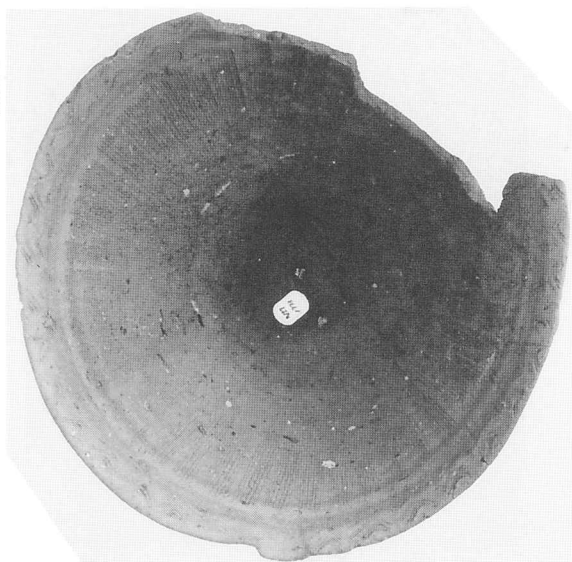


館前館跡

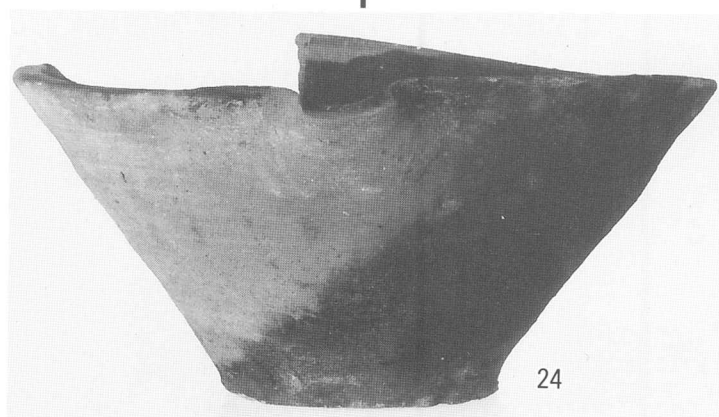


根井館跡

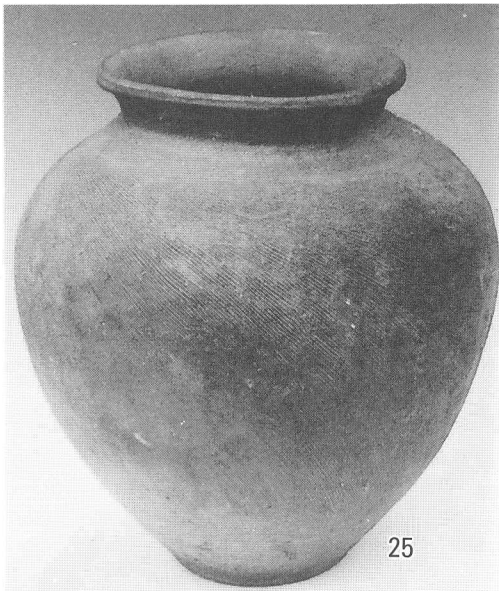
図版
5



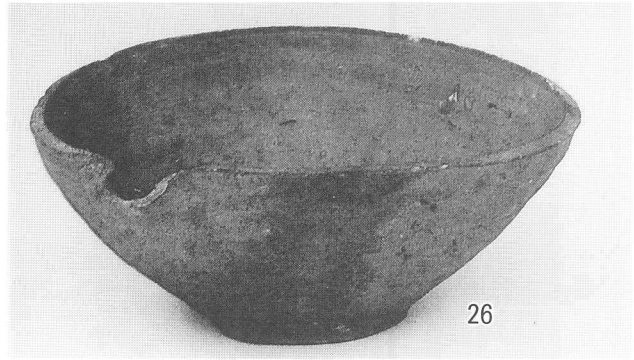
穀丁遺跡



後城遺跡

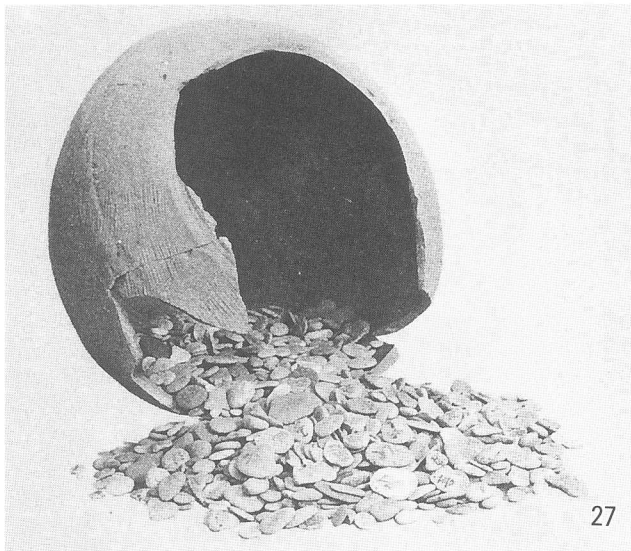


25

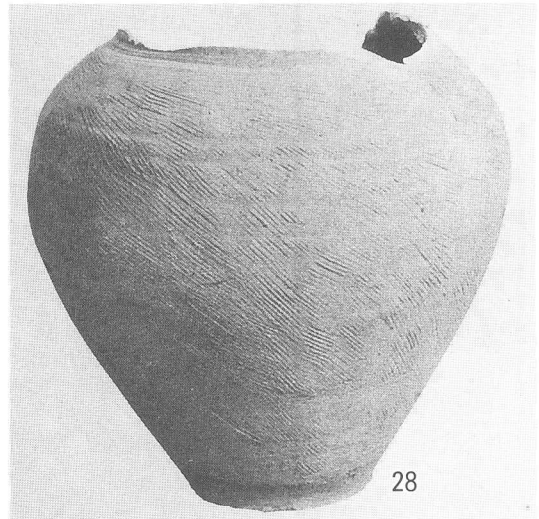


26

御座堂遺跡（五輪台経塚）

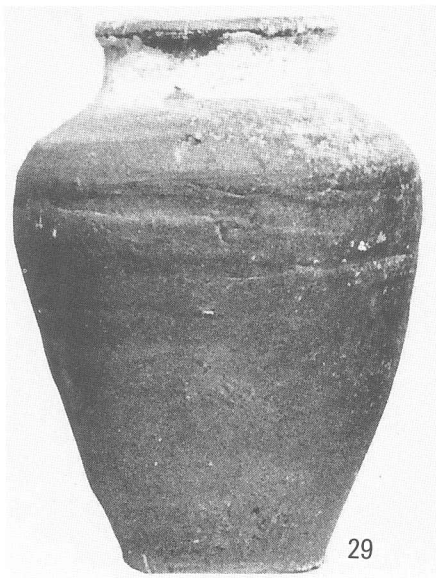


27



28

河戸川遺跡（河戸川経塚）



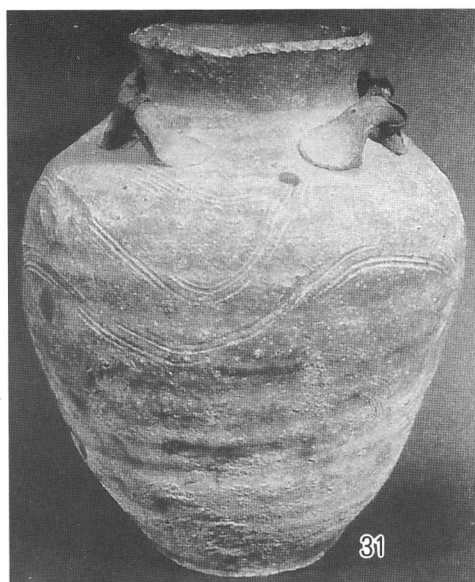
29

加茂青砂経塚



30

小出 I 遺跡



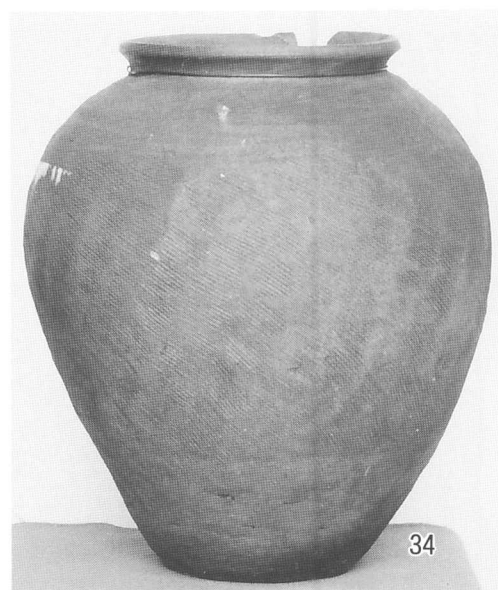
閑居長根 1 号経塚



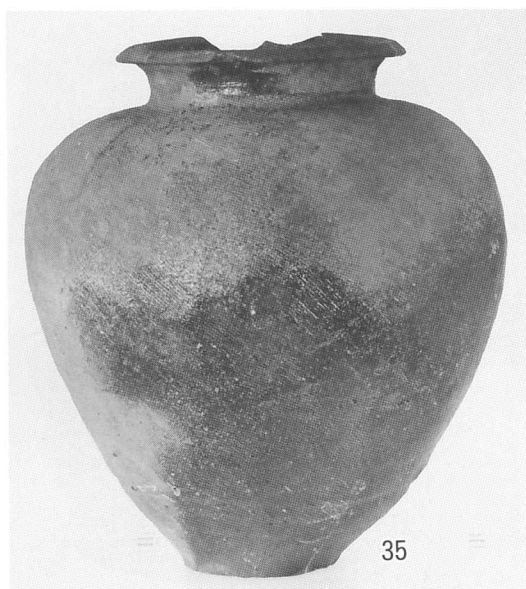
閑居長根 1 号経塚



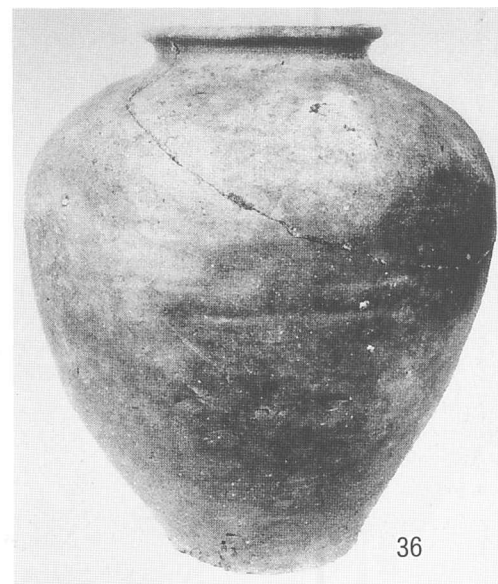
観音寺経塚



大沢経塚



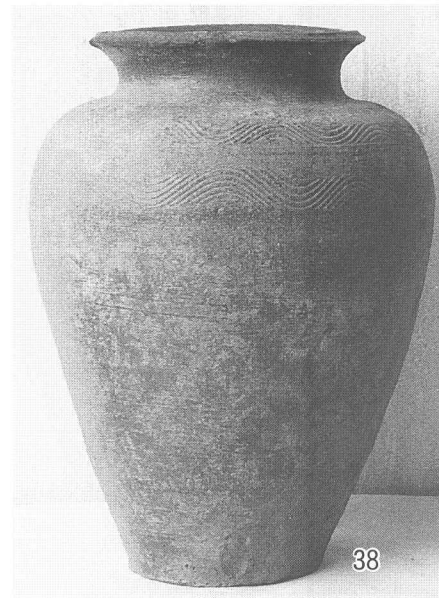
北野遺跡



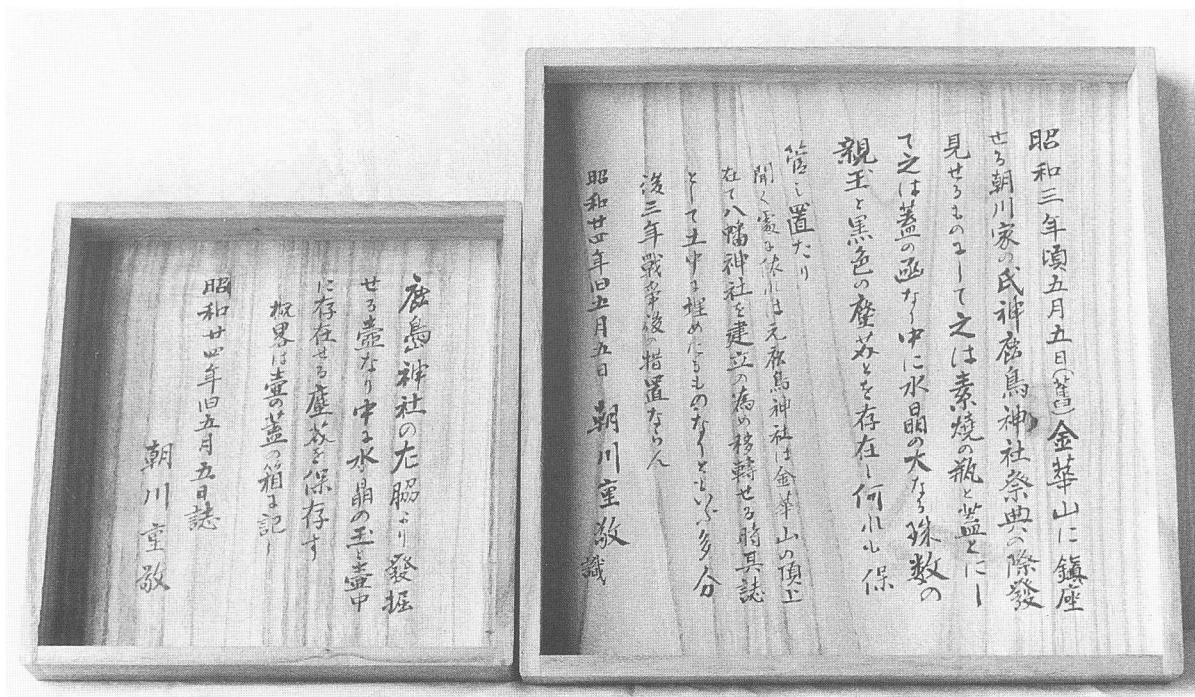
松岡経塚



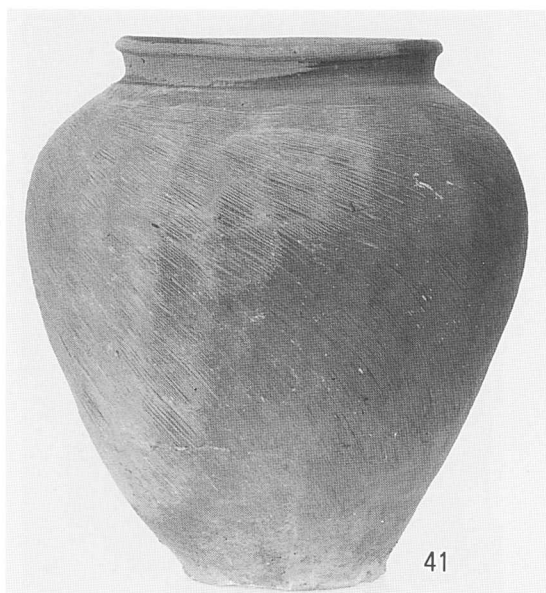
秋田市上新城日吉神社跡



劔花山の鹿島神社

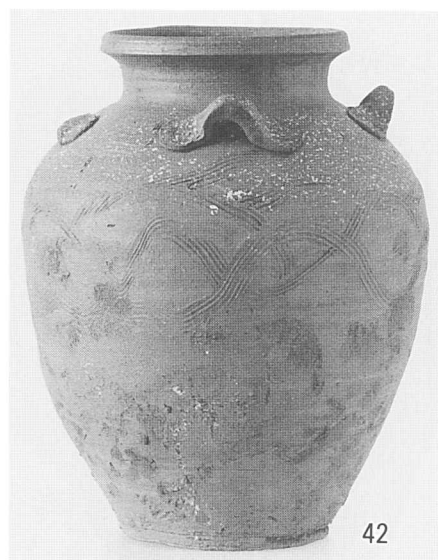


劔花山の鹿島神社（箱蓋の裏書き）



41

長森遺跡



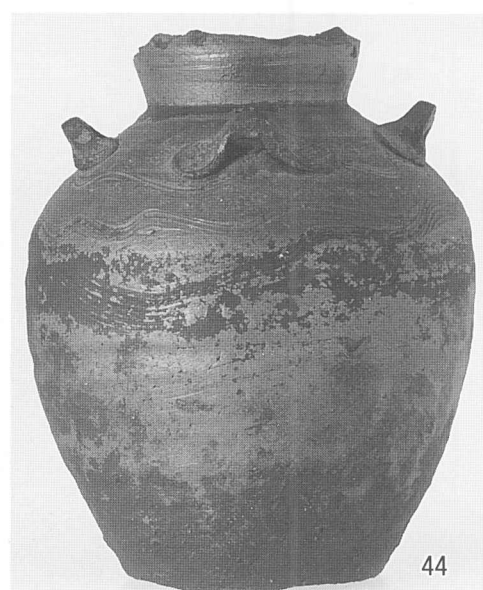
42

長森遺跡



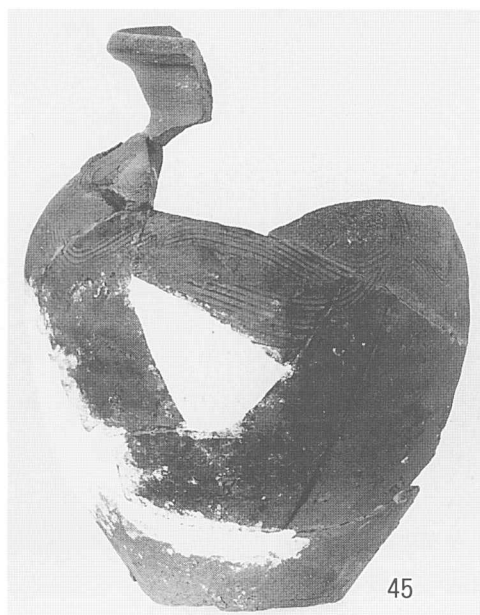
43

長森遺跡



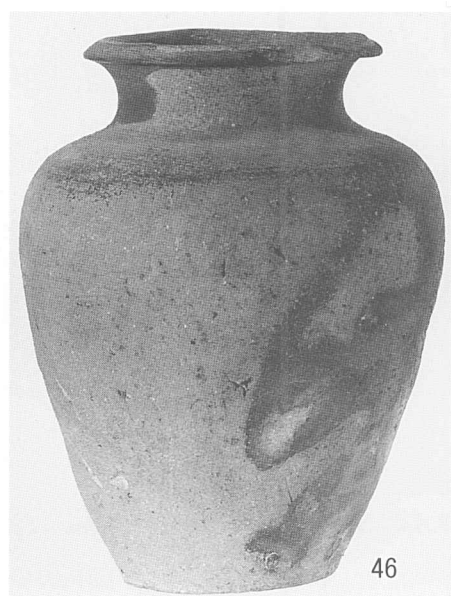
44

ニツ井町切石



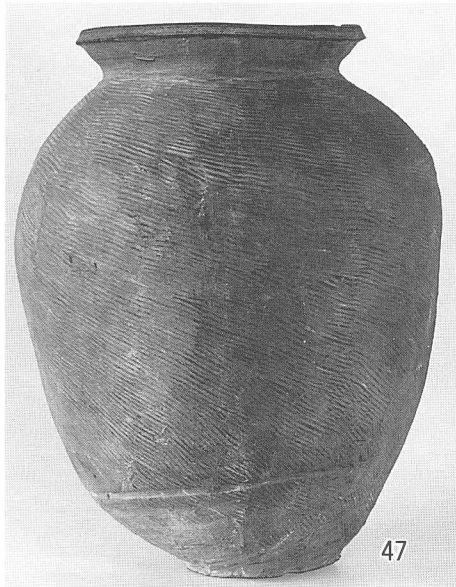
45

ニツ井町

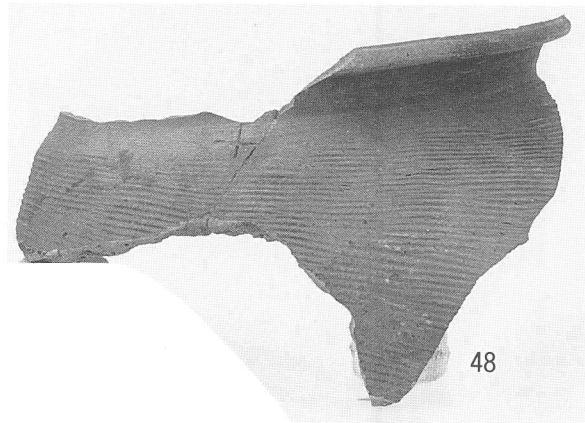


46

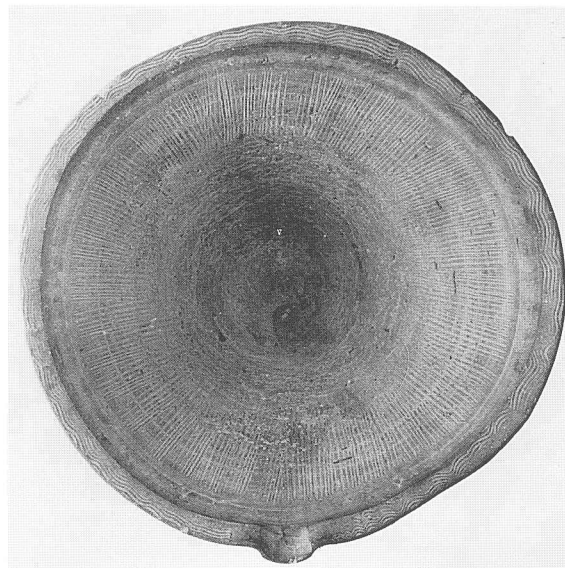
鶴ノ木



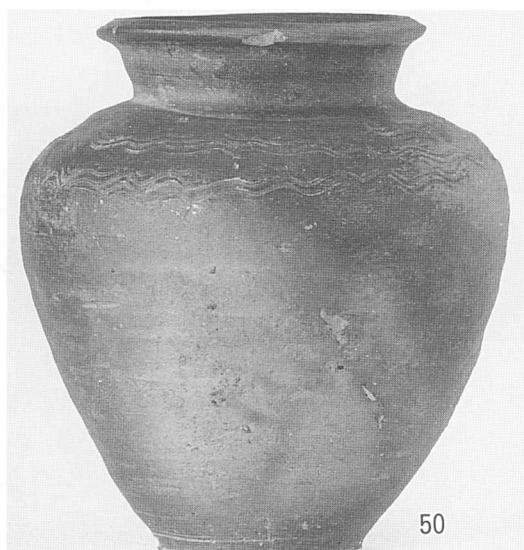
秋田市寺内



古野遺跡

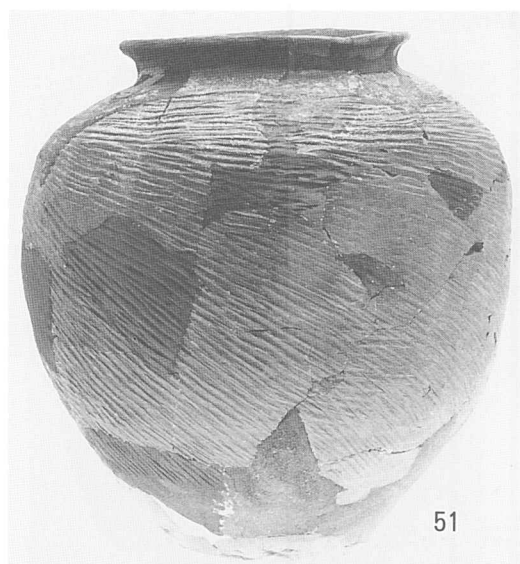


仁井田白山遺跡



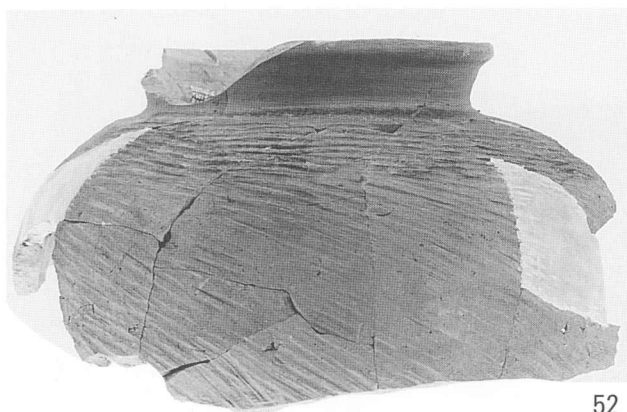
50

仁賀保町馬場



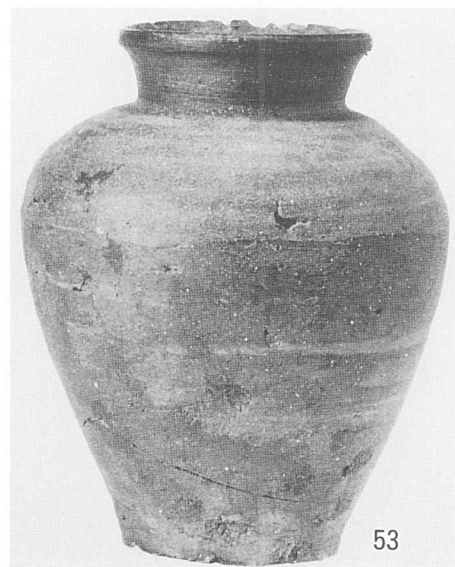
51

小出 I 遺跡



52

北田山田ヶ沢Ⅱ遺跡



53

一ツ森遺跡



54

院内沢遺跡



55

出土地不明